

取扱説明書

緊急地震速報 受信装置

型番：DN-SH700J

BLACK なまず



緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 Jコーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

<https://www.jcorp.co.jp> fax 0742-53-7795



緊急地震速報

※緊急地震速報配信業者：株式会社ドリームウェア（地震動の予報業務許可事業者 許可第 148 号）

目次

1 ご利用になる前に

- ・ ご利用になる前の重要事項 4
- ・ 梱包内容の確認 7

2 各部の名称と機能

- ・ 各部の名称 (前面) 8
- ・ 各部の名称 (側面) 9
- ・ 各部の名称 (背面) 10

3 機器の設置と接続

- ・ 設置する前に 11
- ・ 本機器の設置方法 11
- ・ 動作確認 12
- ・ 本機器の接続方法 13

4 ウェブブラウザ接続及び設定

- ・ 本機器の初期設定 14
- ・ ウェブブラウザログイン 18
- ・ 基本設定 19
- ・ ネットワーク設定 21
- ・ 告知サウンド設定 22
- ・ 入出力設定 (DO, DI) 25
- ・ 津波設定 29
- ・ その他 (時報・スリープ) 32
- ・ 地震受信履歴 33
- ・ 津波受信履歴 35
- ・ 端末管理 36

5 画面の表示

- ・ 画面の操作方法 38
- ・ 「基本画面」表示内容 39
- ・ 「地震予報」表示内容 ① 40
- ・ 「地震予報」表示内容 ② 41
- ・ 「津波予報・津波注意報・津波警報・大津波警報」表示内容 42
- ・ 「地震履歴」表示内容 43
- ・ 「設定情報」表示内容 ① 44
- ・ 「設定情報」表示内容 ② 45
- ・ その他の表示内容 46
- ・ 本体メインメニュー表示 47
- ・ 本体メインメニュー表示 48
- ・ サブメニュー表示 49

6 本機器の操作

・「地震履歴」&「設定情報」の参照操作の画面遷移図	62
・「設定」画面でのボタン操作	63
・「報知テスト」の操作	64
・「報知震度」の設定	65
・「訓練報」の設定	66
・「通過地震」の設定	67
・「深発地震」の設定	68
・ オプションサウンドユニットへの送信設定（「RF」の設定）	69
・「地震警報」の設定	70
・「キャンセル報」の設定	71
・「電文の確からしさ」の設定	72
・ 固定 IP 設定（DHCP OFF）	73
・ 外部接続端子について	74
・ 定期点検	75

7 子機（オプション）

・ BLACK なまず 子機 型番：DN-KOKI700	76
------------------------------------	----

8 仕様

・ 仕様書	77
-------------	----

9 困ったときは

・ トラブルシューティング	78
---------------------	----

本取扱説明書は本装置の取扱い上の注意、操作方法、製品仕様について説明しています。
本取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
お読みになった後も、大切に保管してください。

本装置を安全にお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防ぐために守っていただきたい事項が、本取扱説明書の「警告」と「注意」に記載されています。
安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

本取扱説明書の内容の一部を性能や機能の向上などにより、予告なく変更することがあります。
本取扱説明書の内容を無断で転載、複製することを禁止します。
本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例、または規則に従ってください。
本装置に対するお問合せなどがございましたら、弊社までご連絡ください。

■ ご利用になる前の重要事項

緊急地震速報の特性や限界により、次のようなおそれがあります。これにより、本装置が発報しない、発報が間に合わない、または震度・到達猶予時間などの予測演算数値に誤差が生じることがございますので、予めご了承ください。

1. 緊急地震速報の発表から大きな揺れが到達するまでの時間は、長くても十数秒から数十秒と極めて短い時間です。
2. 震源に近いところでは地震到達までに緊急地震速報が間に合わないことがあります。(直下型)
3. ごく短い時間のデータだけを使った情報であることから、予測結果に誤差を伴う場合があります。
4. 震源の深さが 150km 以上深い場合(深発地震)は予測結果に大きな誤差を含む事があります。
5. 短い間隔で複数の地震が発生した場合、震源の特定が困難となり予測結果に大きな誤差を含んだり予測できない事があります。
6. 落雷、事故、機器の故障等により、誤報が発生する可能性があります。
7. 緊急地震速報は、サービス品質、及び正確性(地震発生時に必ず情報が伝達、及び発表されること、情報の伝達が地震の到達の前に必ず間に合うこと、誤報、誤差が生じないことを含む)について一切保証されません。

※気象庁が実施する訓練報に関してはお客様自身が訓練の内容、及び配信日時等を確認の上対応してください。

※緊急地震速報について十分理解し、日頃から、地震を想定した行動マニュアルの整備や、定期的な避難・防災訓練の実施に努めてください。

※緊急地震速報で使用される NHK 報知音(チャイム音)は、NHK に帰属しています。

◆ 警 告

誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、または重傷を負う可能性があります。

爆発性のガスがある場所で使用しないでください。

周囲に爆発性のガスがある場所で使用すると、爆発の原因になります。

煙が出る、異臭、または異音がする場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になりますので、弊社に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水が入らないよう、また、濡らさないようご注意ください。

濡らしたまま使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

水などが入った場合は、弊社に修理をご依頼ください。

濡れた手で電源コネクタやケーブルにさわらないでください。

濡れた手でさわると、感電の原因になります。

ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に本装置を設置しないでください。

落ちたり、倒れたりすると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

本装置のカバーが破損した場合は、弊社に修理をご依頼ください。

規定の AC アダプターを使用してください。

規定の AC アダプター以外を使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

隙間などから金属や燃えやすい異物を入れないでください。

隙間などから異物を入れると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

異物が入った場合、電源プラグをコンセントから抜き、弊社に修理をご依頼ください。

本装置のカバーやパネルを外さないでください。

内部には電圧の高い部分がありますので、さわると感電の原因になります。

点検、または修理を行う場合は、弊社にご依頼ください。

改造しないでください。

改造すると、感電・火災・故障・けがの原因になります。

改造した場合は修理に応じられないことがあります。

電源コード、接続ケーブルの取扱いについては以下の事項を厳守してください。

電源コード及び接続ケーブルは、束ねない、加工しない、引っ張らない、加熱しない、濡らさない、ねじらないでください。

◆注 意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害が発生する可能性があります。

人命に関わるような外部機器の作動・制御には使用しないでください。

長時間ご使用にならない時は、安全のため、電源プラグをコンセントより抜いてください。

コネクタに規定外の端子を接続したり、電圧を加えたりしないでください。

コネクタに規定外の端子を接続したり、電圧を加えたりすると、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

本装置の上に物を置かないでください。

上に物を置くと、カバーが内部回路に接触し、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

故障したまま使用しないでください。

故障したまま使用すると、感電・火災・けがの原因になることがあります。

弊社に修理をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

湿気やほこりの多い場所に置くと、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

規定の動作範囲内でご使用ください。

動作範囲外で使用すると、故障の原因になることがあります。

使用できる温度範囲及び湿度範囲は製品仕様書に明記してあります。

損傷したケーブルや AC アダプターを使用しないでください。

損傷した物を使用すると、感電・火災・故障・けがの原因になることがあります。

本装置を輸送する場合は、ご購入時の包装材料が同等以上の包装材料をご使用ください。

輸送中に本装置にかかる振動や衝撃が大きいと、故障や火災の原因になることがあります。

業者に輸送を依頼するときは、包装箱のすべての面に「精密機械在中」などの表示をしてください。

室内でご使用ください。

本装置は防水仕様及び防滴仕様ではありません。

室内でご利用ください。

直射日光の当たる場所は避けてください。

■ 梱包内容の確認

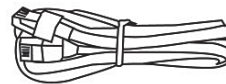
開封時に下記梱包品がすべて揃っているかを確認してください。



●本体 x 1 台



●A Cアダプター x 1 個



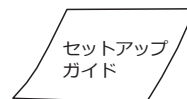
●LAN ケーブル 2 m x 1 本



●端末 I D ラベル x 2 枚

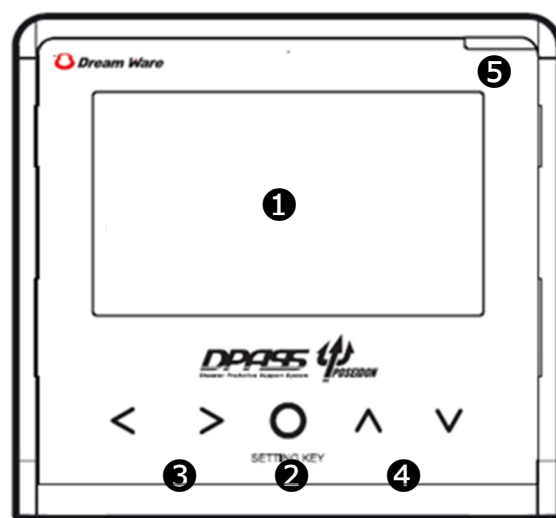


●保証書 x 1 枚



●セットアップガイド x 1 枚

■ 各部の名称（前面）



① LCD ディスプレイ

各種の情報を表示します。

（時計、地震情報、設定情報、通信状態、動作状況など）

② SETTING KEY

約 2 秒間の長押しで設定メニューを呼び出します。選択した設定内容を確定する際の「決定」ボタンとして使用します。

③ 「<」「>」KEY

設定メニューで「<」「>」を押す事で左右にスクロールして各項目を選択する事ができます。通常の待ち受け画面では「<」ボタンで地震速報の発報履歴が表示され、「>」ボタンで、受信端末の設定内容が表示されます。

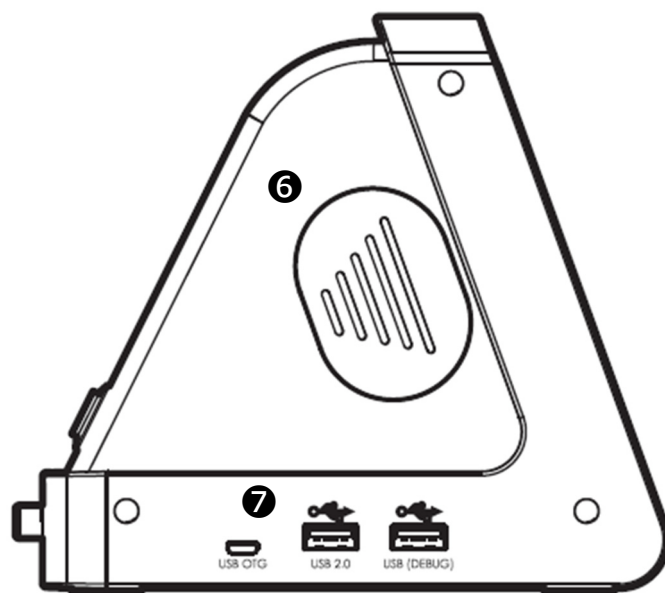
④ 「^」「v」KEY

設定メニューで「^」「v」を押す事で上下にスクロールして各項目を選択する事ができます。

⑤ 動作表示ランプ

地震速報端末の動作状況を表示します。正常待ち受け時はランプ点灯。端末起動時またはネットワーク異常時など、地震速報を受信できない状態の場合は点滅となります。

■ 各部の名称（側面）



⑥内蔵スピーカー

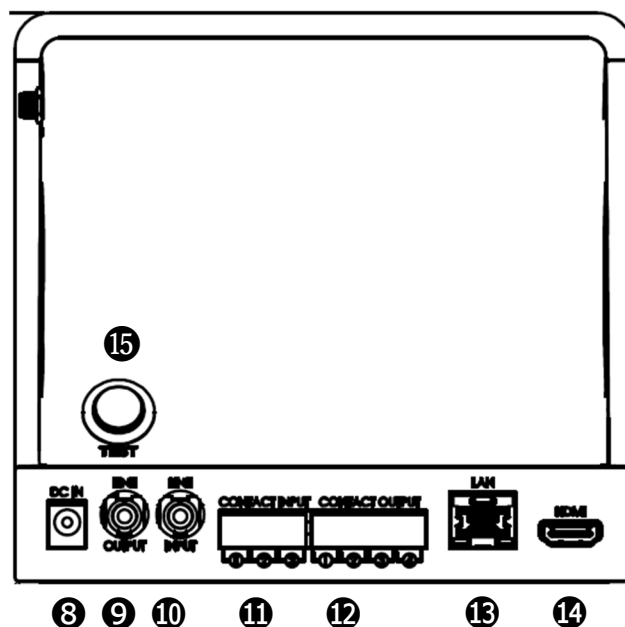
報知音を出します。（左右2つのスピーカーが内蔵されています。）

⑦診断用コネクター

本装置を診断するための端子です。（お客様はご利用できません）

※診断用コネクターにイヤフォン等を挿入しないでください。故障の原因となる恐れがあります。

■ 各部の名称（背面）



⑧ D C I N

付属の AC アダプターを接続します。

⑨ LINE OUT コネクタ

内部スピーカーと同様の音声を出力 / 外部入力音声を出力（放送設備などへ）

⑩ LINE IN コネクタ（音声スルー機能）

有線放送などの外部機器から音声入力ができます。通常待ち受け状態の時は入力された音声は LINE OUT から出力されます。

⑪ 外部接点入力端子（CONTACT INPUT）

外付けスイッチなどの外部機器から機器端末を制御する際に接続する端子

⑫ 外部接点出力端子（CONTACT OUTPUT）

外部連動制御する機器を接続します。

⑬ LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。

⑭ H D M I 端子

端末の表示画面を T V などの外部モニターに接続するための端子です。

⑮ T E S T ボタン

約 2 秒長押しで、訓練報のメッセージを流します。

津波情報、訓練報のメッセージ送出中に約 2 秒長押しで、メッセージの送出を中止します。

■ 設置する前に

本機器はお客様の購入した機器の ID と住所などの情報がサーバーに登録されないと正常に動作（地震予報を報知）しませんので、必ず端末登録を行ってください。

◆ 端末登録方法

端末登録方法（登録用紙など）に関しては、ご購入された販売店にお問い合わせください。

- ※ 登録の際必要となる通信費用につきましてはお客様のご負担となります。
- ※ バーコードを貼付した保証書と登録用紙は大切に保管してください。
- ※ サーバーへの端末登録が完了いたしますと、情報受信ができるようになります。登録完了の通知はいたしかねます。

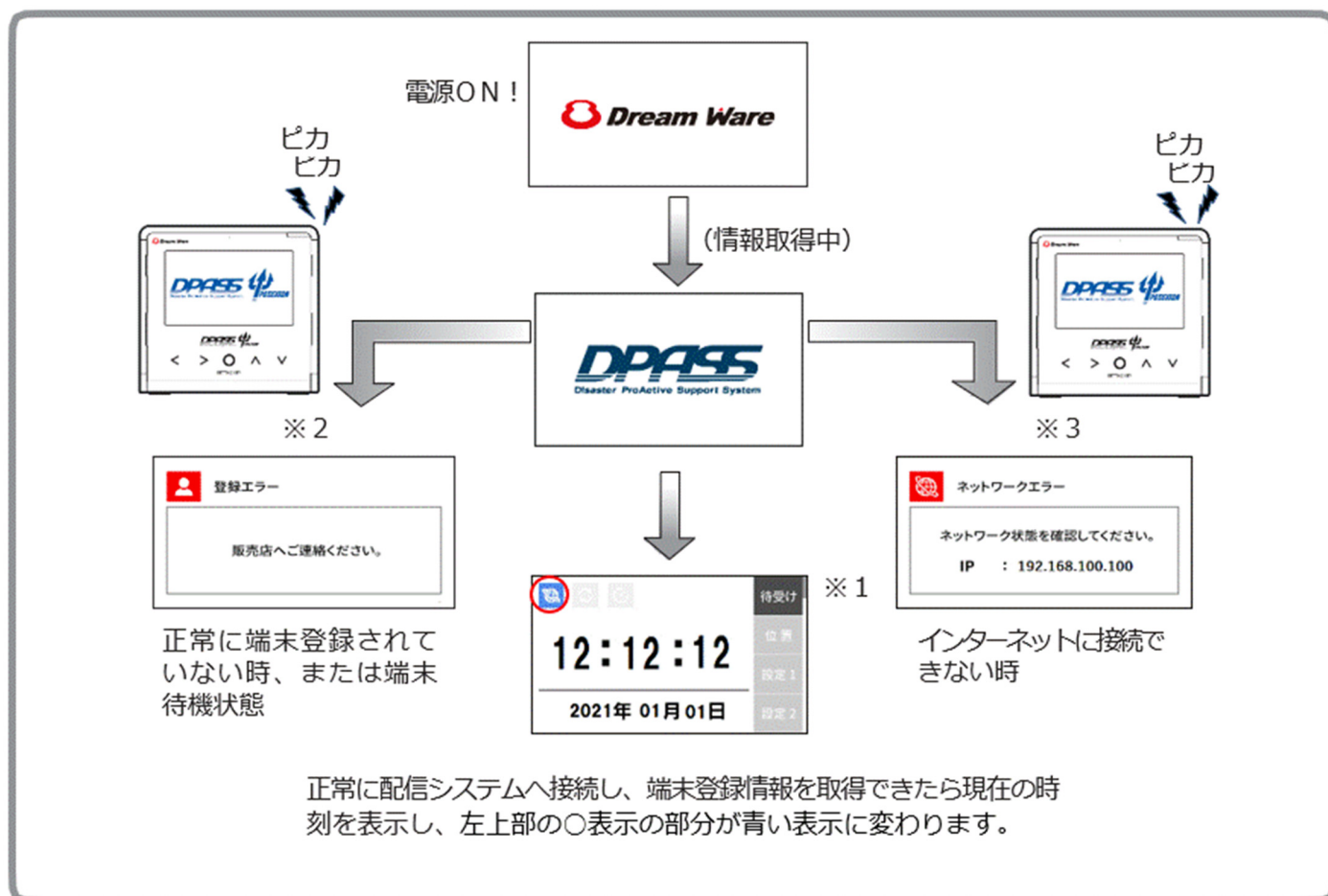
■ 本機器の設置方法

◆ 接 続

1. すでにお客様が用意されたルーターまたはハブと本体を、LANケーブルで接続してください。
 - ※ 必ずLANケーブルを接続してから電源を接続するようにしてください。
2. 付属のACアダプターを接続してください。
3. 電源を入れて3分以内に基本画面が表示されない場合、お客様のネットワーク環境をご確認の上、ご購入された販売店のお問い合わせ窓口にご連絡ください

動作確認

- 端末登録の手続きが終わりましたら、前ページの設置方法に従ってLANケーブルを接続したのち、ACアダプターをコンセントに接続してください。
- 電源投入後、次のような画面の流れを確認してください。

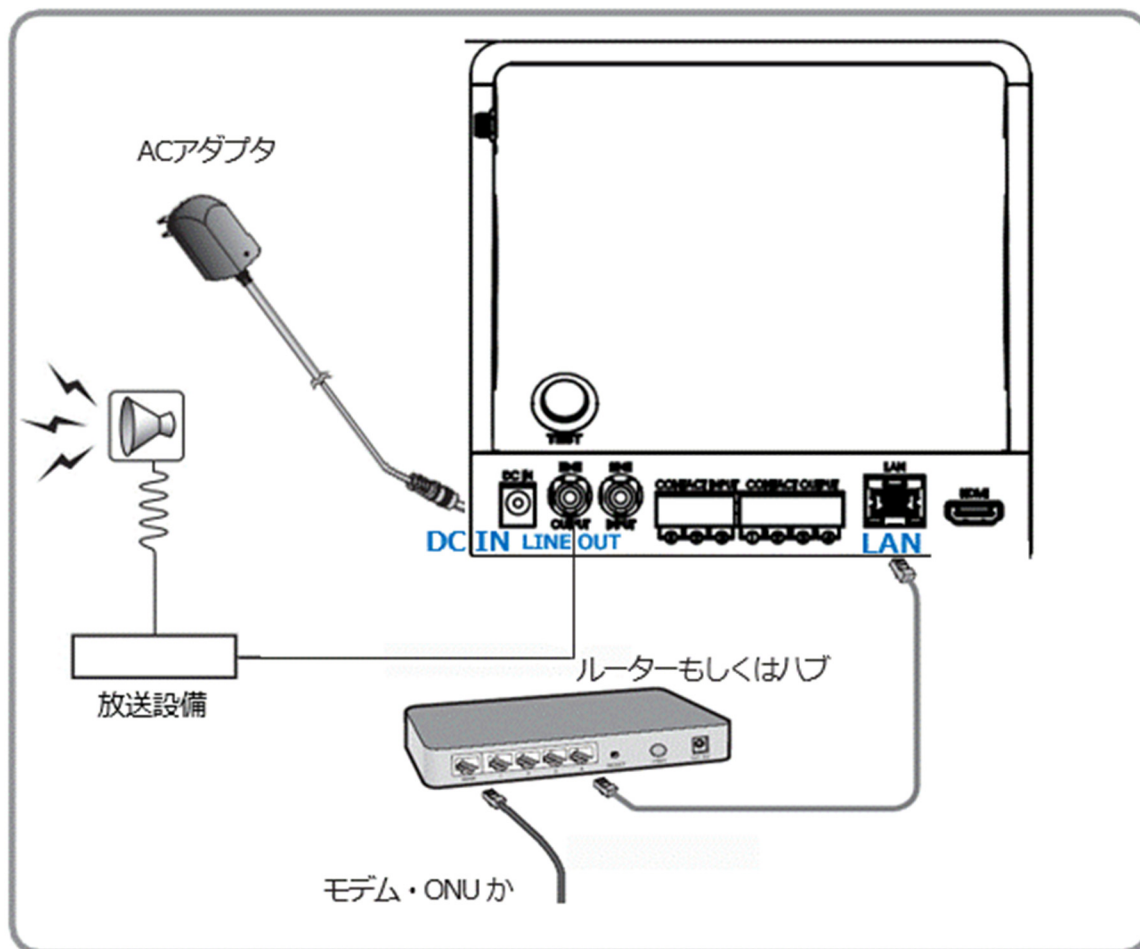


電源が入ると、動作表示ランプ（STATUS）が点滅し約30秒で現在時刻が表示され、（※1）左上部の○表示の部分が青色になると、動作表示ランプも点灯状態になります。ここまで正常に立ち上がると機器は問題なく動作していますので、本書の説明に従ってお客様の好みの設定に合わせてお使いください。

※2…お客様の端末登録手続きが、正常に完了していない可能性があります。また、長時間の切断により、端末待機状態の場合も同様の画面表示となります。端末の再起動をお願いします。それでも解決しない場合は、ご購入された販売元にお問い合わせください。

※3…お客様のネットワーク環境のチェックが必要となります。（ルーターやLANケーブル等のネットワーク機器の接続状態及び設定内容をご確認ください）

■ 本機器の接続方法



※外部入力・出力を利用し別の機器と連携（音声スルー）する際にはご購入された販売元にお問い合わせください。

お客様が直接取り付けになった場合は、それに従う機器の破損、故障などについて、弊社及び販売元は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本機器の初期設定

※本機器の工場出荷時の IP 設定は自動取得（DHCP）になっておりますので、DHCP 環境でのご利用の場合は IP アドレスにつきまして何も設定する必要はありません。

◆ DHCP 環境で利用する場合

本機器の工場出荷時の設定は DHCP になっています。LAN ケーブルを接続し、AC アダプターを接続すると端末は自動的に IP を取得します。IP の自動取得完了後には基本画面（時計画面）が表示されます。（P.39 画面参照）

※基本画面が表示されるとウェブブラウザからの全ての設定が可能になります。
（P.18 ウェブブラウザログイン参照）

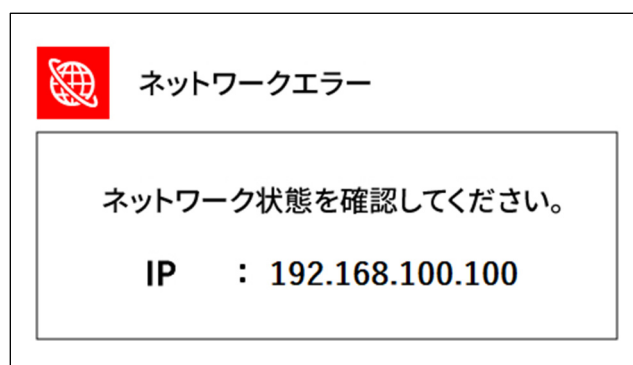
◆ 固定 IP で利用する場合（DHCP を利用しない場合）

本機器のウェブブラウザからネットワーク設定が必要になります。

ネットワーク環境が固定 IP の場合、初期状態から IP 自動取得ができないため、ネットワーク通信が行われない状態となり、基本画面は表示されません。IP アドレスを直接入力し、変更を行ってください。

1. 固定 IP で利用する場合、ネットワーク通信ができない状態となるため、自動取得失敗の後初期値の次の IP アドレス「192.168.100.100」が適用されます。（下の画面参照）

※適用されるまで最大 1 分程度かかる場合があります。

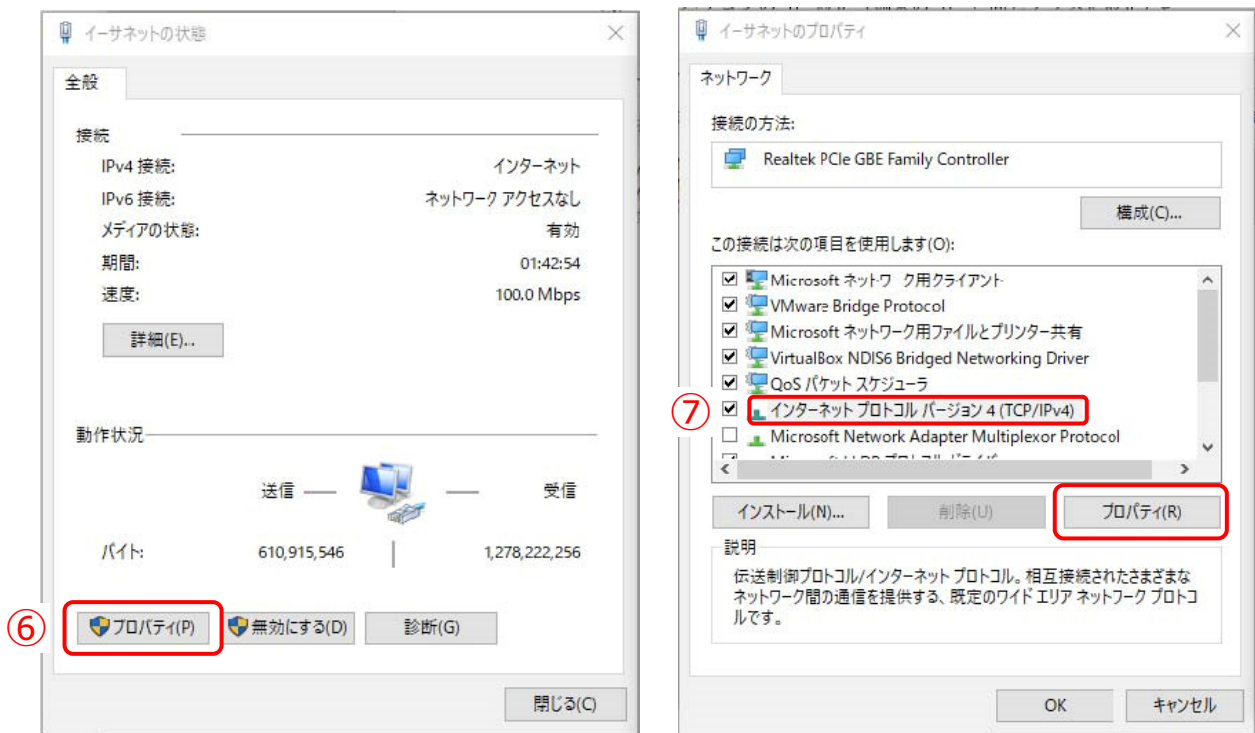


2. 本機器のウェブブラウザから固定 IP を設定するためには、先にパソコンの IP 変更が必要になります。パソコンの設定については下記のように変更をしてください。

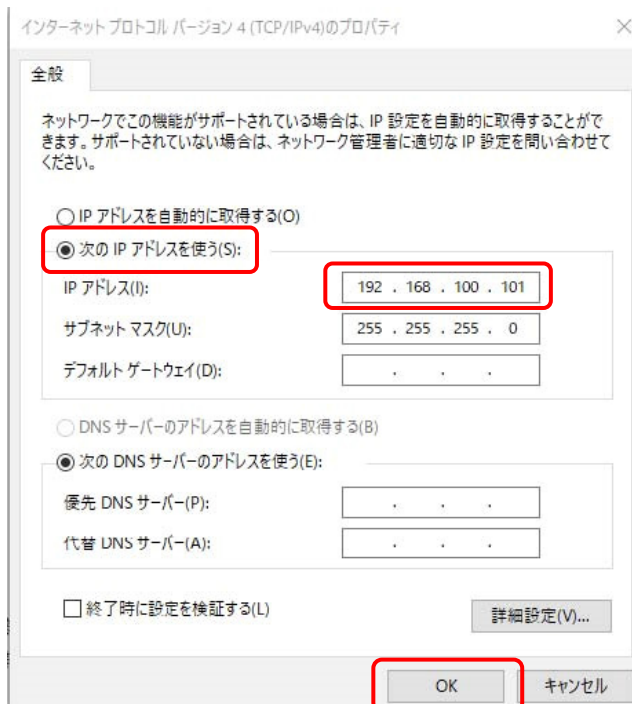
※パソコンに設定する IP は 192.168.100.XXX になります。下記は任意に 101 にします。同じ LAN 内であれば変更しなくても、機器のウェブブラウザへ接続できます。

Windows 10

①「スタート」⇒②「設定」⇒③「ネットワークとインターネット」⇒④「ネットワークと共有センター」⇒⑤「イーサネット」⇒⑥「プロパティ」⇒⑦「インターネットプロトコルバージョン TCP/IP v4」の「プロパティ」



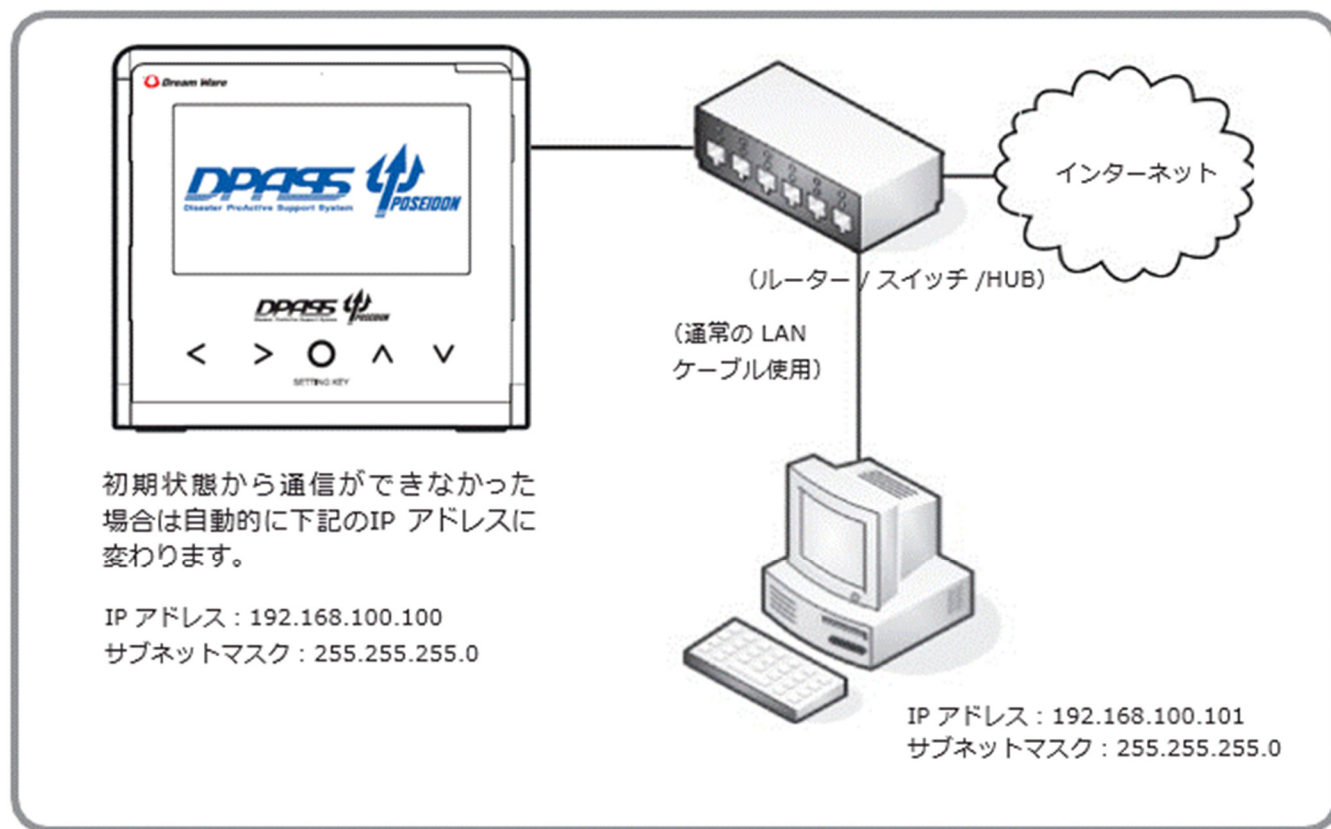
⑧「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスを入力して「OK」をクリックします。
※ここでは「192.168.100.101」に設定しています。



これで PC に本装置と同じ IP が割り当てられ、本装置との接続が可能になります。

3. 本機器のウェブブラウザへのアクセス方法

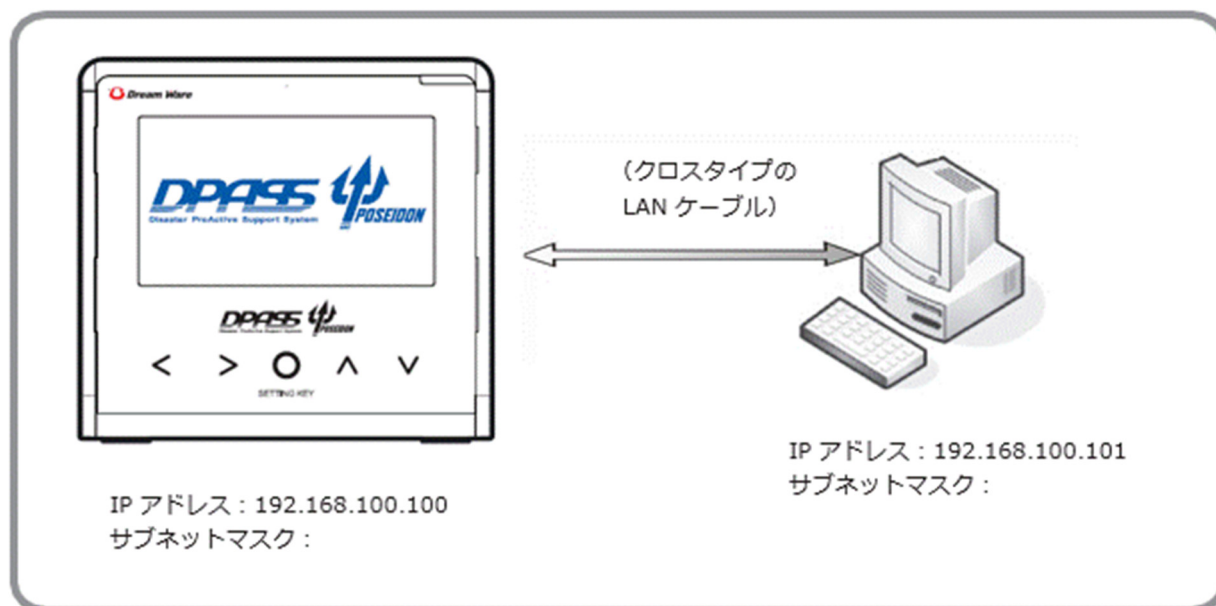
① 固定 IP 変更設定方法 1 (LAN 環境での端末固定 IP 設定)



本機器とパソコンを同じネットワーク機器（ルーター / スイッチ / HUB 等）に差込、上の画面のようにしてください。

上記のように準備が完了した後は機器のウェブブラウザにアクセスすることができます。パソコンのウェブブラウザを立ち上げ、アドレスバーのところに URL (<http://192.168.100.100>) を入力し移動すればログイン画面が表示されます。設定ページにログインしていただきお客様のネットワーク環境に合わせ IP 設定を変更してください。(P.21 固定 IP 設定参照)

② 固定 IP 変更設定方法 2 (クロス LAN ケーブル)



クロスタイプの LAN ケーブルを利用しての設定が可能です。(クロスタイプの LAN ケーブルは別途ご用意する必要があります。)

パソコンの IP 設定変更の上、機器とパソコンをクロスタイプの LAN ケーブルで接続し、パソコンのウェブブラウザを立ち上げ、アドレスバーに URL(<http://192.168.100.100>) を入力し移動すればログイン画面が表示されます。設定ページにログインしていただきお客様のネットワークに合わせ IP 設定を変更してください。(P.21 固定 IP 設定参照)

■ ウェブブラウザログイン

1. ウェブブラウザログイン（最初のログイン）

- ① ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに機器に設定されている IP アドレスを入力します。
例) 192.168.xxx.xxx (IP アドレスは機器の LCD 画面から確認することができます。)
- ② ログイン画面が表示されたら、ログインパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。
※工場出荷時のログインパスワード「admin」(変更可能)



2. ウェブブラウザログイン（ご利用中のログイン）

- ① 機器に基本画面（時計画面）が表示されていることを確認します。
- ② 待ち受け状態で、「>」を押して機器のネットワーク情報を表示させます。
- ③ 表示中、上から二行目の「IPv4」のアドレスをメモします。
- ④ ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに機器に設定されている IP アドレスを入力します。
例) 192.168.xxx.xxx (③で確認した IP アドレスを入力してください。)
- ⑤ ログイン画面が表示されたら、ログインパスワードを入力し「ログイン」ボタンをクリックします。
※ 機器のネットワークアドレスまたはウェブブラウザログインパスワードの変更の際には必ず取扱説明書または、保証書などにメモをしてください。
万が一パスワードを忘れた場合は、端末の初期化（工場出荷状態）の必要があります。この際、端末の設定内容が工場出荷状態に、履歴が全件消去されてしまいます。

基本設定

報知震度及び各種緊急地震速報の受信条件設定ができます。また端末識別 ID 情報、位置情報の確認ができます。

The screenshot shows the 'Basic Settings' (基本設定) screen. At the top, there is a navigation bar with tabs: 基本設定 (Basic Settings), ネットワーク設定 (Network Settings), 告知サウンド設定 (Notification Sound Settings), 入出力設定 (Input/Output Settings), 津波設定 (Tsunami Settings), その他 (Others), 地震受信履歴 (Earthquake Reception History), 津波受信履歴 (Tsunami Reception History), and 端末管理 (Terminal Management). The '基本設定' tab is selected.

Below the navigation bar, there is a section titled '● 端末基本設定' (Terminal Basic Settings). This section contains several rows of settings, each with a red box and a number:

- ① 端末ID (Terminal ID): QAK6999995
- ② バージョン情報 (Version Information): 0.08
- ③ 緯度 (Latitude): 35.688247
- 経度 (Longitude): 139.690404
- 増幅度 (Amplitude): 2.108700
- ④ 設定震度 (Setting Magnitude): 震度1 (Magnitude 1)
- ⑤ 地震警報設定 (Earthquake Alert Setting): ● 受信する (Receive) ○ 受信しない (Do not receive)
- 訓練報設定 (Training Report Setting): ● 受信する (Receive) ○ 受信しない (Do not receive)
- 通過地震設定 (Through Earthquake Setting): ● 受信する (Receive) ○ 受信しない (Do not receive)
- 深発地震設定 (Deep Earthquake Setting): ● 受信する (Receive) ○ 受信しない (Do not receive)
- RF出力設定 (RF Output Setting): ● 出力する (Output) ○ 出力しない (Do not output)
- ⑦ 電文確からしさ (Message Reliability): 全電文 (All messages)
- 基本音量 (Basic Volume): 5
- LINEOUT音量 (LINEOUT Volume): 0
- ⑧ 画面の明るさ (Screen Brightness): 50
- 待ち受け画面の明るさ (Standby Screen Brightness): 5
- 待ち受け画面の変更時間 (Standby Screen Change Time): 50 秒 (50 seconds)
- ⑨ HDMI出力 (HDMI Output): 地震・津波 (Earthquake/Tsunami)
- HDMIの音量 (HDMI Volume): 5
- ⑩ テロップ (Teletext): ● 使用 (Use) ○ 使用しない (Do not use)
- ⑪ 告知アナウンス言語設定 (Notification Announcement Language Setting): 日本語 (Japanese)

At the bottom of the screen, there is a '保存' (Save) button.

① 端末ID：端末識別ID（QAK から始まる 10 桁の英数字）です。

② バージョン：端末のバージョン情報を表示します。

③ 位置情報：端末の設置場所情報（緯度・経度・増幅度）が確認できます。

④ 設定震度：報知震度の設定ができます。

設定震度以上の地震のみ報知動作を行います。

（詳細は P.49 をご参照ください。）

⑤ 受信設定：警報・訓練報・キャンセル報・通過地震・深発地震

「受信する / 受信しない」設定を行います。

（詳細は P.50 ～ 52 ご参照ください。）

⑥ RF出力設定：オプションサウンドユニット（SH700-J-S）へ「出力する / 出力しない」設定を行います。（詳細は P.51 をご参照ください。）

- ⑦ 確からしさ：気象庁から配信される電文の観測点数情報から報知動作の制御ができます。
「全て報知 / 2 点以上報知」設定を行います。
- －全電文：気象庁から配信された電文を全て演算し、報知動作を行います。
 - －2 観測点以上の電文：気象庁から配信された電文の中から 2 点以上観測点情報が確認された電文を演算し、報知動作を行います。
- ⑧ 音量：画面の明るさ設定
- 基本音量：端末本体の音量を 0～100 の値で設定できます。
- LINE OUT 音量：放送設備などへの外部機器への出力音量を 0～100 の値で設定できます。
- 画面の明るさ：端末本体の表示画面の明るさを 0～100 の値で設定できます。
- 待ち受け画面の明るさ：無操作で一定時間経過後に、画面の明るさを自動的に変更する事ができ、0～100 の値で設定できます。
- 待ち受け画面の変更時間：無操作時に自動的に待ち受け画面状態となる時間を、10 秒～100 秒の値で設定できます。
- ⑨ H D M I 設定：T V モニターなどに発報時の端末の映像・音声の出力を設定します。
- H D M I 出力：「出力しない」「地震・津波」「地震」「津波」から選択できます。
- H D M I の音量：出力音量を 0～100 の値で設定できます。
- ⑩ テロップ：地震速報・津波警報発報時（訓練発報含む）に、本体表示画面に 4 ケ国語の文字でテロップ表示ができます。
- ⑪ 告知アナウンス言語設定：「日本語」「英語」「中国語」「韓国語」「フランス語」「スペイン語」の 6 ケ国語から音声案内を選択できます。

※ 地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

■ ネットワーク設定

ウェブブラウザにログインし、ネットワーク情報及び PROXY 設定を行うことができます。

基本設定 ネットワーク設定 告知サウンド設定 入出力設定 津波設定 その他 地震受信履歴 津波受信履歴 端末管理			
● ネットワーク設定情報 ①			
DHCP	☒ ON ☐ OFF		
端末IPアドレス	192.168.5.13	サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.5.1		
DNS1サーバー	8.8.8.8	DNS2サーバー	8.8.4.4
● PROXYサーバー設定情報 (※HTTP PROXYサーバーは対応していません。) ②			
PROXY設定	☐ SOCKS4 ☐ SOCKS5 ☒ 使用しない		
PROXYサーバーアドレス		PROXYポート	
ユーザーID		パスワード	
保存			

①ネットワーク設定情報

ー DHCP ON

: DHCP ON に設定した場合、ネットワーク環境のルーターから IP アドレスを自動取得します。

ー DHCP OFF

: DHCP OFF に設定した場合、固定 IP アドレス情報を入力してください。

② PROXY サーバー設定情報※HTTPプロキシの対応はできません。

ご利用中の PROXY サーバー接続方法を選択してください。

ー SOCKS4

: PROXY サーバーのアクセス情報 (認証無し) を入力してください。

ー SOCKS5

: PROXY サーバーのアクセス情報及び認証情報 (ID/PASS) を入力してください。

ー 使用しない

: PROXY サーバーを使用していないネットワーク環境では使用しないを選択してください。

※ 地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

※ 設定した情報を適用するには端末の再起動が必要になります。

再起動には約 1 分～ 2 分程度かかり、その間には緊急地震速報を受信することができませんので、ご注意ください。

告知サウンド設定

告知サウンドの詳細設定ができます。

- ① 冒頭報知音設定 : 無音・NHK・REIC から選択ができます。
NHK チャイムは震度 5 弱以上の地震が発生した時のみ報知されるため、震度 1 ～ 4 までは弊社独自のチャイムが鳴ります。(P.23 参照)
- ② 音声出力表現設定 : 詳細 (猶予時間 + カウントダウン) ・ 曖昧 1 (10 秒以下でカウントダウン) ・ 曖昧 2 から選択ができます。(P.23 参照)
- ③ 告知繰り返し設定 : 告知アナウンスの繰り返し回数の選択ができます。(1 ～ 10 回)
- ④ 告知アナウンス 1.2.3 : 43 種類の告知アナウンスから選択ができます。(P.24 参照) 設置場所の状況に合わせてアナウンスを選択してください。

※告知アナウンス 1 は「7. 揺れが収まるまで、身を守ってください。」に初期設定されております。

※選択表現別音声内容 (P.23) と告知アナウンスの音声リスト (P.24) をご参照にお客様に一番適した音声出力設定行ってください。

例 1) 緊急地震速報震度 4 の猶予時間 1 5 秒

NHK / 詳細 / 告知 3 回 / アナウンス 7、無音、無音

DW チャイム 3 回 地震震度 4 12 秒後 10.9.8.7.6.5.4.3.2.1

揺れが収まるまで、身を守ってください。

揺れが収まるまで、身を守ってください。

揺れが収まるまで、身を守ってください。

例 2) 緊急地震速報震度 5 弱の猶予時間 2 5 秒

NHK / 曖昧 1 / 告知 2 回 / アナウンス 1、無音、無音

NHK チャイム 2 回 地震「物が倒れるぐらいの揺れが」「まもなく来ます。」「ピ・ピ」

地震「物が倒れるぐらいの揺れが」「すぐに来ます。」「ピ・ピ」

地震「物が倒れるぐらいの揺れが」「すぐに来ます。」10.9.8.7.6.5.4.3.2.1

安全が確認できるまで外には出ないでください。

安全が確認できるまで外には出ないでください。

●選択表現別音声内容（※記号については、下記【略称表示説明】参照）

冒頭音	音声出力表現	開始音声及び繰り返し音声	最終音声
無音	詳細	「地震 _ 震度● _ △秒後」 「地震警報 _ 震度● _ 秒後」※	カウントダウン
	曖昧 1	「地震 _ ◆ _ ◎」+「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	曖昧 2	「地震 _ ◎」+「★オリジナル報知音」	「★オリジナル報知音」
REIC	詳細	「地震 _ 震度● _ △秒後」 「地震警報 _ 震度● _ 秒後」※	カウントダウン
	曖昧 1	「地震 _ ◆ _ ◎」+「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	曖昧 2	「地震 _ ◎」+「★オリジナル報知音」	「★オリジナル報知音」
NHK	詳細	「地震 _ 震度● _ △秒後」 「地震警報 _ 震度● _ 秒後」※	カウントダウン
	曖昧 1	「地震 _ ◆ _ ◎」+「★オリジナル報知音」	カウントダウン
	曖昧 2	「地震 _ ◎」+「★オリジナル報知音」	「★オリジナル報知音」

※地震警報を受信した場合は通常の「地震」の代わりに「地震警報」の音声が入ります。

●：気象庁震度階級の「震度 1 ～ 7」	△：猶予時間（※最大読み上げ音声 50 秒）
◆：震度階級あいまい表現 ・震度 1 ～ 3 の場合「小さな揺れが」 ・震度 4 ～ 5 強の場合「物が倒れるぐらいの揺れが」 ・震度 6 弱～7 の場合「命にかかわるほどのゆれが」	◎：猶予時間あいまい表現 ・0 ～ 1 9 秒の場合「すぐに来ます」 ・2 0 ～ 2 9 秒の場合「まもなく来ます」 ・3 0 秒以上の場合「もうまもなく来ます」
★：「オリジナル報知音」 ・震度 1 ～ 3 の場合「ビ」 ・震度 4 ～ 5 強の場合「ビ・ビ」 ・震度 6 弱～7 の場合「ビ・ビ・ビ」	REIC：REIC 報知音 ・震度 / 時間にかかわらず同一 NHK：NHK 報知音 ・震度 1 ～ 4 オリジナル音 ・震度 5 弱～7 NHK チャイム音
※気象庁から訓練報を受信した場合、ウェブブラウザ及びTEST ボタンから訓練を実施した場合は、冒頭に「地震」の代わりに「訓練です」を挿入します。 ※チャイムの途中で地震が来てしまった場合（猶予時間が短い 4 秒、3 秒、2 秒、1 秒）でも最後まで震度情報を報知し終了します。（猶予時間：地震起きて設置場所まで到達する時間）	

※チャイムの途中で地震が来てしまった場合（猶予時間が短い 4 秒、3 秒、2 秒、1 秒）でも最後まで震度情報を報知し終了します。（猶予時間：地震起きて設置場所まで到達する時間）

例）緊急地震速報震度 5 弱の猶予時間 2 秒（NHK2 回設定）⇒チャイムの途中地震到達（揺れている）
 詳細：NHK チャイム 2 回、「地震震度 5 弱」
 曖昧 1：NHK チャイム 2 回、「物が倒れるぐらいの揺れがすぐに来ます。」
 曖昧 2：NHK チャイム 2 回、「地震すぐに来ます。」

●告知アナウンス音声リスト

0. 無音
1. 安全が確認されるまで外には出ないでください。
2. 安全な姿勢で身構えてください。
3. 安全に備えてください。
4. 安全確認のため皆様に、一旦この場所から外へご退場頂きます。
5. 身の安全を確保してください。
6. ゆれが収まるまで安全な場所にいてください。
7. 揺れが収まるまで、身を守ってください。8. ゆれが収まってから火の始末をしてください。
9. 揺れがくるまで僅かな時間しかありません。
10. 強い揺れに警戒してください。
11. 強い揺れに備えてください。
12. 落ち着いてください。
13. むやみに移動すると危険です。
14. お座りになってお待ち下さい。
15. 机の下に隠れて身を守ってください。
16. テーブルや机の下に隠れてください。
17. 窓やドアを開け避難経路を確保してください。
18. 避難経路を確保してください。
19. 指定の避難場所に避難してください。
20. 火の元の確認をしてください。
21. 倒れやすいものに近づかないでください。
22. 周りを確認してください。
23. ガスの元栓を閉めて下さい。
24. 倒れやすい家具などから離れてください。
25. 落下物に注意してしてください。
26. 上から落ちてくるもの倒れてくるものから身を守ってください。
27. 大変危険です。
28. 海岸沿いから離れてください。
29. 震源が海底・海岸沿いの場合、津波が発生する可能性があります。
30. 皆様の安全に問題はありません。
31. 皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。
32. 本日、催しを中止せざるを得ない事態となり、誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。
33. 指示が出るまでそのまま待機してください。
34. 係員の誘導に従ってゆっくりとご退場をお願いいたします。
35. 前の人を押したりしないでください。
36. 地盤が緩んでいる場所では、土砂災害に注意してください。
37. 地滑り、土砂災害に注意してください。
38. がけ崩れに注意してください。
39. テレビやラジオの電源をいれ、災害情報を確認してください。
40. テレビ・ラジオから最新の情報を入手してください。
41. 気象庁のホームページから最新の情報を入手してください。
42. 走らないでください。
43. 余震に十分注意してください。

■ 入出力設定 (DO , DI)

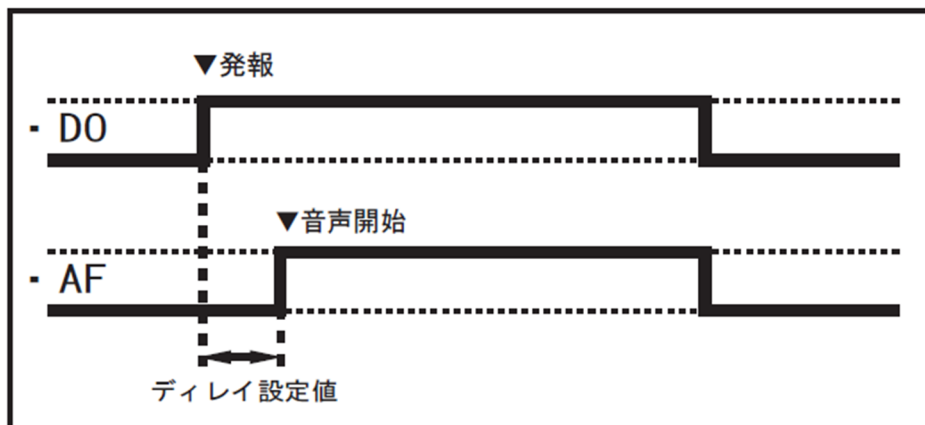
1. 出力設定 (DO)

外部出力の設定ができます。

基本設定 ネットワーク設定 告知サウンド設定 入出力設定 津波設定 その他 地震受信履歴 津波受信履歴 端末管理				
● 出力設定情報				
AF	出力ディレー ①	ディレー無し ▼		
DO1	設定情報 ②	☒ 地震出力 ☒ 津波出力 ☐ DI出力		
	震度レベル ③	震度3 ▼	津波出力 ④	出力する ▼
	ディレー設定 ⑤	ディレー無し ▼	出力時間 ⑥	☒ 発報時、出力 ☐ 発報後、出力 AF連動 ▼
	出力タイプ ⑦	Aタイプ (Normal Open) ▼		
DO2	設定情報	☒ 地震出力 ☒ 津波出力 ☐ DI出力		
	震度レベル	キャンセル報のみ出力 ▼	津波出力	出力する ▼
	ディレー設定	ディレー無し ▼	出力時間	☒ 発報時、出力 ☐ 発報後、出力 10 秒 ▼
	出力タイプ	Aタイプ (Normal Open) ▼		

- ① AF 出力ディレー : DO の出力タイミング（発報時）に対して音声出力開始タイミングを遅らせたい場合設定します。（デフォルト：なし）

例）2 秒選択の場合、地震発生後の 2 秒後から音声出力が開始されます。



- ② DO 設定情報 : 地震 / 津波 / DI から選択し、接点を出力します。
 3つ選択も可能です。（「AF 連動設定」及び「発報後、出力」設定の際には「DI 出力」を選択することができません。）

※ DO 出力条件を複数選択した場合、緊急地震速報に関する出力が最優先されます。地震関連発報中に津波を受信した際には緊急地震速報の報知終了後、津波情報が報知されます。

③ 震度レベル : 設定震度レベル以上の地震のみ、接点を出力します。

例) 基本動作設定震度が3、DO1 設定震度が 5 弱の場合

震度3以上の地震を受信し、その地震から震度 5 弱以上のみ接点を出力します。

④ 津波出力 : 津波出力についての設定（出力なし、出力する、津波解除・取消のみ出力）

※一つの DO から地震と津波を同時に出力させたい場合は②の DO 設定情報を地震出力と津波出力両方選択してください。そのあと津波出力を「出力する」に設定してください。

※DO で津波出力を設定しても、本体津波設定の発報を ON にしていないと出力しません。

(P.29 参照)

⑤ ディレー設定 : 接点出力タイミングを遅らせることができます。

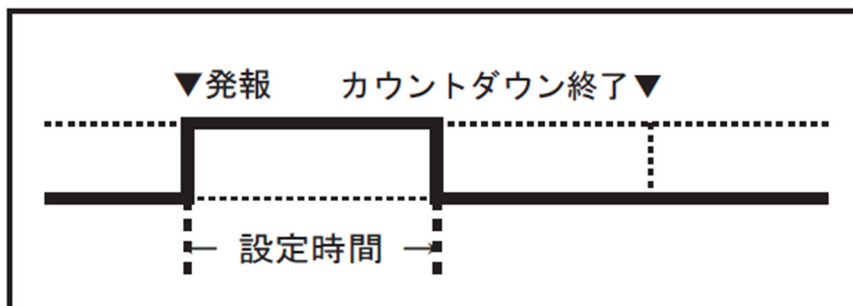
(100m~900m、1~10秒)

⑥ 出力時間 : DO の動作時間設定 (単位: 秒)

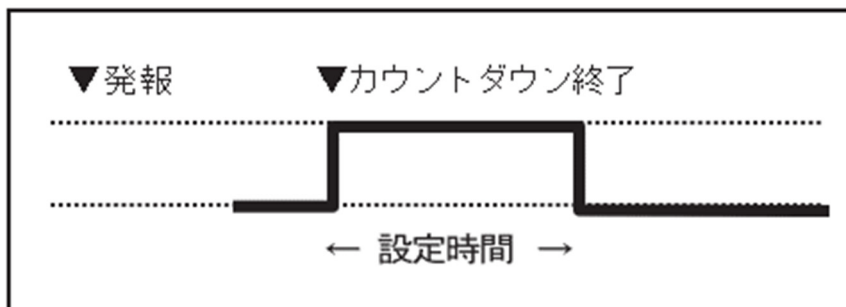
「200m~900m、1~300秒」、「連続」、「AF 連動」の選択ができます。

ア) 「200m~900m、1~300秒」設定した時間のみ出力します。

●発報時、出力

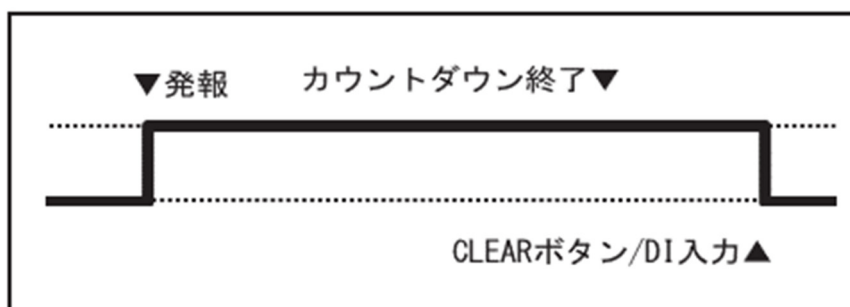


●発報後、出力

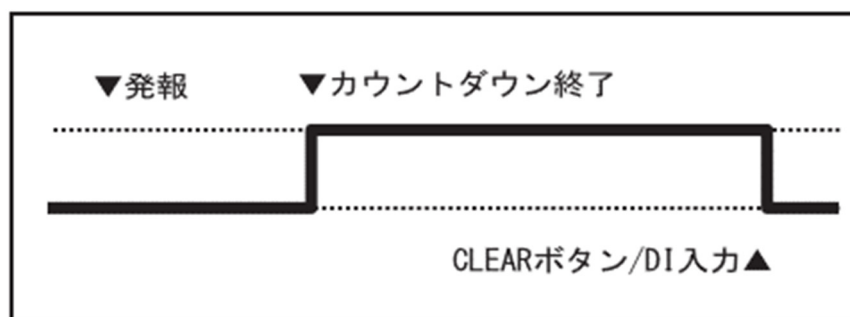


イ)「連続」を選択すると発報と同時に出力動作を開始します。キャンセル報受信、もしくはDIでの入力、CREAR ボタンの長押しがない限り出力 ON の状態を維持します。

●発報時、出力



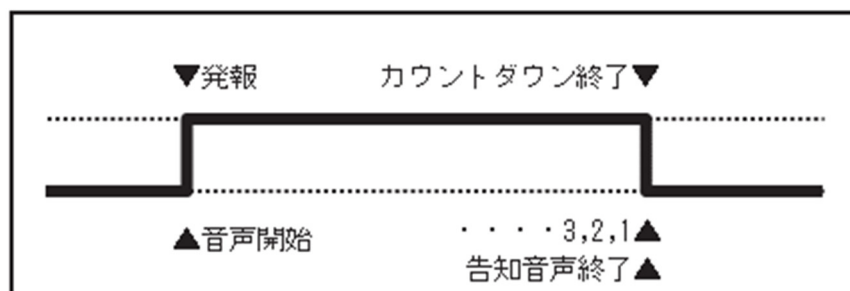
●発報後、出力



ウ)「AF 連動」を選択すると発報と同時に出力動作を開始します。

音声出力（カウントダウン終了時、告知アナウンスを設定している場合は告知音声終了時）が終了すると接点出力も同時に終了します。

●発報時、出力



※「AF 連動」の場合「発報後、出力」設定はできません。

※ 地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

⑦ 出力タイプ : DO1～DO3 はA接点（Normal Open）、DO4 はB接点（Normal Close）で固定となります。設定による変更はできません。

2. 入力設定 (DI)

入力の設定を行います。

● 入力設定情報		
DI	クリア設定 ①	DI1 入力時、機器をクリアする ▼
	連動設定 ②	使用しない ▼
	連動動作 DO 選択 ③	接点出力しない ▼
保存		

- ① クリア設定 : 外部接点入力端子 (DI1、DI2、DI3) から入力された信号を利用し、出力中の接点をクリアさせます。

設定しない ▼
設定しない
DI1 入力時、機器をクリアする
DI2 入力時、機器をクリアする
DI3 入力時、機器をクリアする

- ② DI 連動設定 : 外部接点入力端子 (DI1、DI2、DI3) からトリガー設定 (1 点、2 点、3 点) 以上の接点入力があった場合、指定した接点出力ポート (DO1,2,3,4 から接点) を出すことができます。

使用しない ▼
使用しない
1点以上入力の場合、出力する
2点以上入力の場合、出力する
3点入力の場合、出力する

- ③ 連動動作 DO 選択 : 上記② DI 連動設定により、接点出力ポート (DO) を選択することができます。

接点出力しない ▼
接点出力しない
DO1へ出力する
DO2へ出力する
DO3へ出力する
DO4へ出力する

※外部に接続している地震計 (P 波計) 又は他の連動機器からの入力を活用することができます。

※地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

津波設定

1. 津波設定

津波情報受信及び受信地域の設定を行います。

The screenshot shows the 'Tsunami Settings' interface. At the top, there are tabs: 'Basic Settings', 'Network Settings', 'Notification Sound Settings', 'Input/Output Settings', 'Tsunami Settings' (highlighted), 'Others', 'Earthquake Reception History', 'Tsunami Reception History', and 'Terminal Management'. Below the tabs, there are three main settings sections:

- ① Tsunami Alert/Attention Reception Setting:** A dropdown menu is set to 'Tsunami Attention Report or above'.
- ② Tsunami Alert/Attention Reception Area:** A dropdown menu is set to 'Tokai Bay'. A list of regions is visible, including: 北海道太平洋沿岸東部, 北海道太平洋沿岸中部, 北海道太平洋沿岸西部, 北海道日本海沿岸北部, 北海道日本海沿岸南部, オホーツク海沿岸, 青森県日本海沿岸, 青森県太平洋沿岸, 陸奥湾, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県, 茨城県, 千葉県九十九里・外房, 千葉県内房.
- ③ Tsunami Alert/Attention Sound Output:** A dropdown menu is set to 'Continuous'.

A 'Save' button is located at the bottom center of the settings area.

① 津波警報・注意報受信設定：津波警報・注意報の種類を選択ができます。

津波注意報：予想される津波の高さが高いところで0.2 m以上、1 m以下の場合
あつて、津波による災害の恐れがある場合
津波警報：予想される津波の高さが高いところで1 m超え、3 m以下の場合
大津波警報：予想される津波の高さが高いところで3 m超える場合

- 受信しない：津波情報に対して端末は報知動作しません。
- 津波注意報以上発報：津波注意報・津波警報・大津波警報に対して報知します。
- 津波警報以上発報：津波警報・大津波警報に対して報知します。
- 大津波警報のみ発報：大津波警報に対してのみ報知します。

② 津波警報・注意報受信地域：気象庁から決められた津波警報・注意報などの発表区域です。機器の設置場所に一番近い海岸沿いに設定をしてください。(P.30 参照)

③ 津波警報・注意報音声出力：音声出力は連続設定に固定されています。
津波受信時には津波音声「津波警報・注意報発令」を津波解除・取消が発表されるまで報知を続けます。(P.42 参照)

※ 地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

2. 津波予報区

気象庁では、津波の影響を受ける地域を予報区として区分けしています。

地図を参照し、設置場所の津波受信地域を設定してください。



津波エリア予報区コード一覧

地図 番号	予報区		地図 番号	予報区	
	コード	地域名		コード	地域名
1	120	オホーツク海沿岸	34	521	兵庫県瀬戸内海沿岸
2	100	北海道太平洋沿岸東部	35	522	淡路島南部
3	101	北海道太平洋沿岸中部	36	510	大阪府
4	102	北海道太平洋沿岸西部	37	530	和歌山県
5	110	北海道日本海沿岸北部	38	540	鳥取県
6	111	北海道日本海沿岸南部	39	550	島根県出雲・石見
7	202	陸奥湾	40	551	隠岐
8	200	青森県日本海沿岸	41	560	岡山県
9	201	青森県太平洋沿岸	42	570	広島県
10	210	岩手県	43	590	香川県
11	220	宮城県	44	601	愛媛県瀬戸内海沿岸
12	250	福島県	45	600	愛媛県宇和海沿岸
13	230	秋田県	46	580	徳島県
14	240	山形県	47	610	高知県
15	300	茨城県	48	701	山口県瀬戸内海沿岸
16	310	千葉県九十九里・外房	49	700	山口県日本海沿岸
17	311	千葉県内房	50	710	福岡県瀬戸内海沿岸
18	312	東京湾内湾	51	711	福岡県日本海沿岸
19	320	伊豆諸島	52	720	佐賀県北部
20	321	小笠原諸島	53	730	長崎県西方
21	330	相模湾・三浦半島	54	731	壱岐・対馬
22	380	静岡県	55	712	有明・八代海
23	390	愛知県外海	56	740	熊本県天草灘沿岸
24	391	伊勢・三河湾	57	750	大分県瀬戸内海沿岸
25	400	三重県南部	58	751	大分県豊後水道沿岸
26	341	佐渡	59	760	宮崎県
27	340	新潟県上中下越	60	770	鹿児島県東部
28	350	富山県	61	773	鹿児島県西部
29	360	石川県能登	62	771	種子島・屋久島地方
30	361	石川県加賀	63	772	奄美諸島・トカラ列島
31	370	福井県	64	800	沖縄本島地方
32	500	京都府	65	802	宮古島・八重山地方
33	520	兵庫県北部	66	801	大東島地方

■ その他（時報・スリープ）

選択した時刻に時報を鳴らしたり、機器の報知動作を停止させることができます。

The screenshot shows a web interface with a top navigation bar containing the following tabs: 基本設定, ネットワーク設定, 告知サウンド設定, 入出力設定, 津波設定, その他 (highlighted with a red box), 地震受信履歴, 津波受信履歴, and 端末管理. Below the tabs, the 'Time and Sleep' (時報・端末起動時間設定) section is visible. It includes a 'Time Sound' (時報サウンド) dropdown menu with a red circle 1 next to it, a 'Time Output Test' (時報出力テスト) button with a red circle 2 next to it, and buttons for 'Repeat Start' (繰り返し開始) and 'Repeat End' (繰り返し終了). Below these are two sections: 'Time Setting' (時報設定) with a red circle 3 next to it, and 'Sleep Time Setting' (スリープ時間設定) with a red circle 4 next to it. Both sections have a grid of checkboxes for hours (00-23) and days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土). A 'Save' (保存) button is located at the bottom of the section.

- ① 時報サウンド : 「時報 1」、「時報 2」、「時報 3」、「時報 4」から選択できます。
- ② 時報出力テスト : 時報音を鳴らして確認をします。
- ③ 時報設定 : 選択した時刻に時報が鳴ります。(複数選択可)
- ④ スリープ時間設定 : 選択した曜日、時刻には機器の報知動作が止まります。
緊急地震速報及び津波電文が受信されても報知しません。

「曜日」と「時間」両方必ず設定してください。「曜日」のみ、「時間」のみを設定してもスリープモード機能は動作しません。

※スリープモードの画面については P.46 を参照ください。

※地震報知中には設定変更 / 保存されても反映されません。

地震受信履歴

緊急地震速報の受信履歴が確認できます。

緊急地震速報を受信しますと画面のように記録が残ります。緊急地震速報受信がない場合は記録に残りません。

例：20140417.log（2014年04月17日の記録）

記録を選択しますと受信記録の詳細な内容が確認できます。

①	②	③	④	⑤
×	(2)	2014/04/17 15:53:51 地震速報	2014/04/17 15:53:51 29.00 129.00 010.0 9.0	震度 1 287 テスト
×	(2)	2014/04/17 15:53:51 地震速報	2014/04/17 15:53:51 30.00 130.00 010.0 9.0	震度 2 255 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:52 地震速報	2014/04/17 15:53:51 32.00 132.00 010.0 9.0	震度 3 190 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:52 地震速報	2014/04/17 15:53:51 32.00 132.00 010.0 9.0	震度 3 190 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:52 地震速報	2014/04/17 15:53:51 34.00 134.00 010.0 9.0	震度 4 130 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:52 地震速報	2014/04/17 15:53:51 34.00 134.00 010.0 9.0	震度 4 130 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:52 地震速報	2014/04/17 15:53:51 35.00 134.50 010.0 9.0	震度 5 弱 114 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:52 地震速報	2014/04/17 15:53:51 35.00 135.00 010.0 9.0	震度 5 強 104 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:52 地震速報	2014/04/17 15:53:51 35.00 135.00 010.0 9.0	震度 5 強 104 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:52 地震速報	2014/04/17 15:53:51 35.00 136.00 010.0 9.0	震度 6 弱 83 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:53 地震速報	2014/04/17 15:53:51 35.00 137.00 010.0 9.0	震度 6 強 62 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:53 地震速報	2014/04/17 15:53:51 35.00 138.00 010.0 9.0	震度 7 42 テスト
●	(2)	2014/04/17 15:53:53 地震速報	2014/04/17 15:53:51 35.50 138.50 010.0 9.0	震度 7 26 テスト
●	(-)	2014/04/17 15:53:58 キャンセル	2014/04/17 15:53:58 -- -- -- --	-- 0 中止

- ① 発報：緊急地震速報を受信し、機器が報知動作をしたかどうかを確認できます。
設定震度以上であり、報知した場合は「●」、
報知動作条件に満たないもしくは設定震度以下であり、報知しなかった場合は「×」で表示します。

※報知動作条件

- ア) 設定震度以上であること。
- イ) 報知中に地震が来た場合、震度が高い場合は報知を更新します。
- ウ) 震度が同様の場合は猶予時間が短い地震を優先し報知動作をします。

② 電文の確からしさ

気象庁から配信された緊急地震速報電文の観測点数の情報を記録します。

1 : 1 観測点の地震速報電文

2 : 2 観測点の地震速報電文

I : 3~4 観測点の地震速報電文 (I P F 法)

B : 5~6 観測点の地震電文 (防災科研データ)

E : 7 以上の観測点の地震電文 (E P O S 気象庁地震活動等総合監視システム)

③ 気象庁からの震源地情報

ア) 電文受信日時 : 気象庁から配信された電文を受信した時刻です。

イ) 電文種別 : 気象庁からの受信した電文の種類 (地震速報、地震警報、訓練報、キャンセル報など) を表示します。

ウ) 地震発生日時 : 気象庁の地震計から地震発生を感知した時刻です。

エ) 震源地情報・地震の規模 : 緯度・経度・深さ・マグニチュードを表示します。

④ 演算結果 (予測震度・予測猶予時間)

気象庁から配信された緊急地震速報 (震源地情報) と機器の設定場所情報 (位置情報) から演算した予測結果を表示します。

⑤ テスト

気象庁からの配信された緊急地震速報 (震源地情報) をそのまま利用しテストを行うことができます。

※履歴は3年間の記録を保存し、最初の記録から3年以降の記録は自動削除されます。

※テスト配信は履歴として保存されません。

津波受信履歴

津波受信履歴の確認ができます。

- ① 発報 : 気象庁からの津波情報を受信し、機器が報知したかどうかを確認できます。
津波情報を、報知した場合は「●」、報知条件に満たず、報知しなかった場合は「×」で表示します。

※報知動作条件

- ア) 津波警報・注意報設定条件の以上であること (P.29 津波設定参照)
- イ) 気象庁から発表された津波情報に設定地域が含まれていること。

- ② 電文区分 : 津波発令 / 津波解除 / 津波取消の電文情報を表示します。

- ③ 種別 : 津波発令の場合「津波予報・波注意報・津波警報・大津波警報」の津波規模が表示されます。

- ④ 津波発表日時・地震発生日時 : 気象庁からの津波電文受信日時と
津波発生の原因となる地震の発生日時を表示します。

※ 履歴は 3 年間の記録を保存し、最初の記録から 3 年以降の記録は自動削除されます。

■ 端末管理

バージョン管理、パスワード管理、動作確認テスト、配信サーバー情報初期化、再起動など管理・運用するための設定になります。

① バージョンアップ管理

ウェブブラウザから機器のバージョンアップができます。

新しいバージョンがある場合はバージョンアップボタンが活性化されます。

最新バージョンの場合はボタンが活性化されません。「最新バージョンです。」と表示されます。

② パスワード管理

ログインする時のパスワードの変更ができます。最初基本設定値は「admin」です。

※注意

変更したパスワードを紛失し不明な状態になりますと、本体を工場出荷時の状態（初期化）に戻さないとログインができなくなりますので、変更した際には必ず取扱説明書または、保証書などにメモするなどパスワード管理にはご注意ください。

③ 動作確認テスト

ア) 震度と猶予時間を選択して報知動作を行います。

イ) 震源地情報を直接入力して報知動作を行います。

ウ) 「震度3 20秒」「震度5強 20秒」「震度7 20秒」固定された結果を選択して報知動作を行います。

エ) 以前発生した大きい地震から選択して報知動作を行います。

④ 津波動作確認テスト

津波を選択すると報知動作を行います。報知動作はテスト中止を押すまで続けます。

⑤ 配信サーバー情報初期化

現在接続されている緊急地震速報配信サーバー情報を初期化し、新たに配信情報を取得します。
(配信サーバーが変更された場合のみ使う機能ですので、通常は使用しません。)

⑥ ネットワーク初期化

ネットワーク設定値を初期化します。※ DHCP に設定され、再起動されます。

⑦ 本体初期化

震度や音量など全ての設定が工場出荷初期値に戻り再起動されます。
※全ての受信履歴も削除されます。

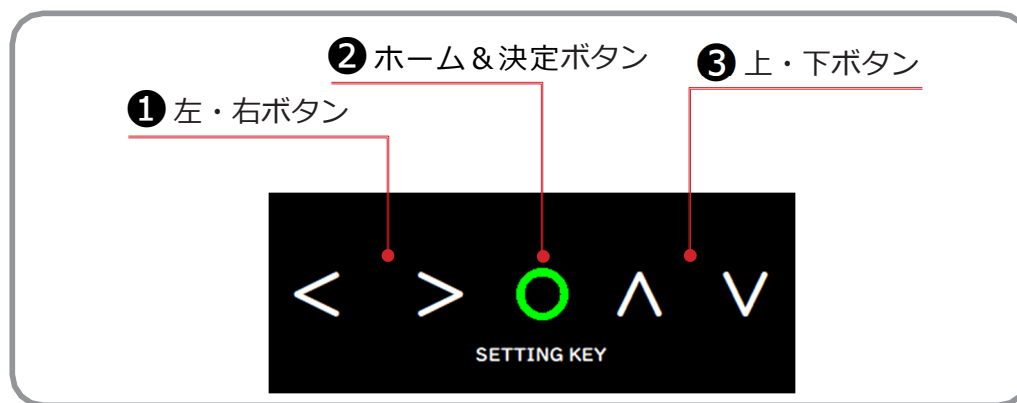
⑧ 端末再起動

端末を再起動させます。

■ 画面の操作方法

◆ ボタン操作

本装置の前面には5つのボタンがあります。



① 左・右ボタン

- ・設定メニューで「<」「>」を押す事で左右にスクロールして各項目を選択する事ができます。
- ・通常の待ち受け画面では「<」ボタンで地震速報の発報履歴が表示されます。「>」ボタンで、受信端末の設定内容が表示されます。

② ホーム&決定ボタン

- ・3秒長押しすることで設定画面に移動します。
- ・設定画面で選択した項目を決定します。

③ 上・下ボタン

設定メニューで「^」「v」を押す事で上下にスクロールして各項目を選択する事ができます。



④ TEST&クリアボタン（背面）

- ・約2秒長押しで、訓練報のメッセージを流します。（震度5強 震度7 を繰り返し）
- ・津波情報、訓練報のメッセージ送出中に約2秒長押しで、メッセージの送出を中止します。

「基本画面」表示内容



① 待受け画面

時計画面が表示されます。

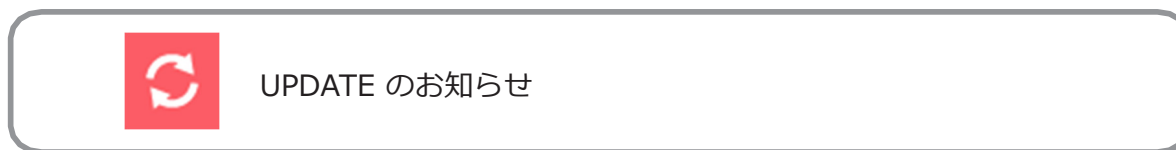
この画面からはネットワーク状態確認と UPDATE 情報の有無、地震発報履歴が確認できます。

② ネットワーク通信状態 & UPDATE 有無確認

本機器と地震速報電文を配信するサーバーとの接続状態を表示します。



現在機器のソフトウェアバージョンより最新のバージョンがあった際に反転させてお知らせします。



③ 地震発報履歴あり

アイコンが表示されていると、地震速報の発報履歴があります。履歴を確認するとアイコンは非表示に変わります。(履歴の確認は P.33、P.62 参照)



「地震予報」表示内容 ①

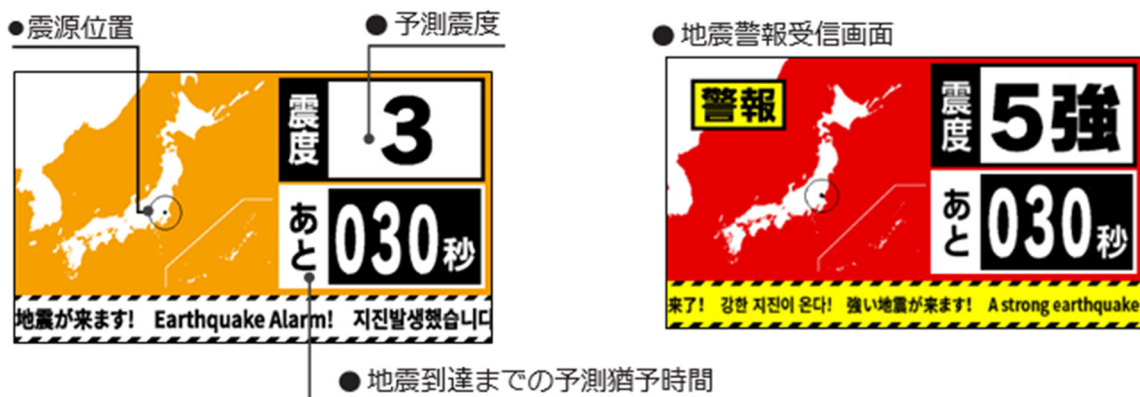
◆ 地震予報・地震警報（予報報知）

実際の地震による緊急地震速報電文を受信し、設置場所の予測震度（演算結果）が報知震度（P.49 参照）以上になったときに表示します。

また、同時に音声による報知を行います。次の内容が確認できます。

- 予測震度
- 地震到達時間までの予測猶予時間
- 地震警報画面表示

強い揺れが来ることを予測して気象庁から配信される地震警報（P.70 参照）を受信した場合、背面の色は通常の紫色ではなく赤色で表示します。



◆ 地震予報終了（カウントダウン終了）後

予報内容を表示します。なお、地震情報は履歴として保存されます。（P.33、P.62 参照）



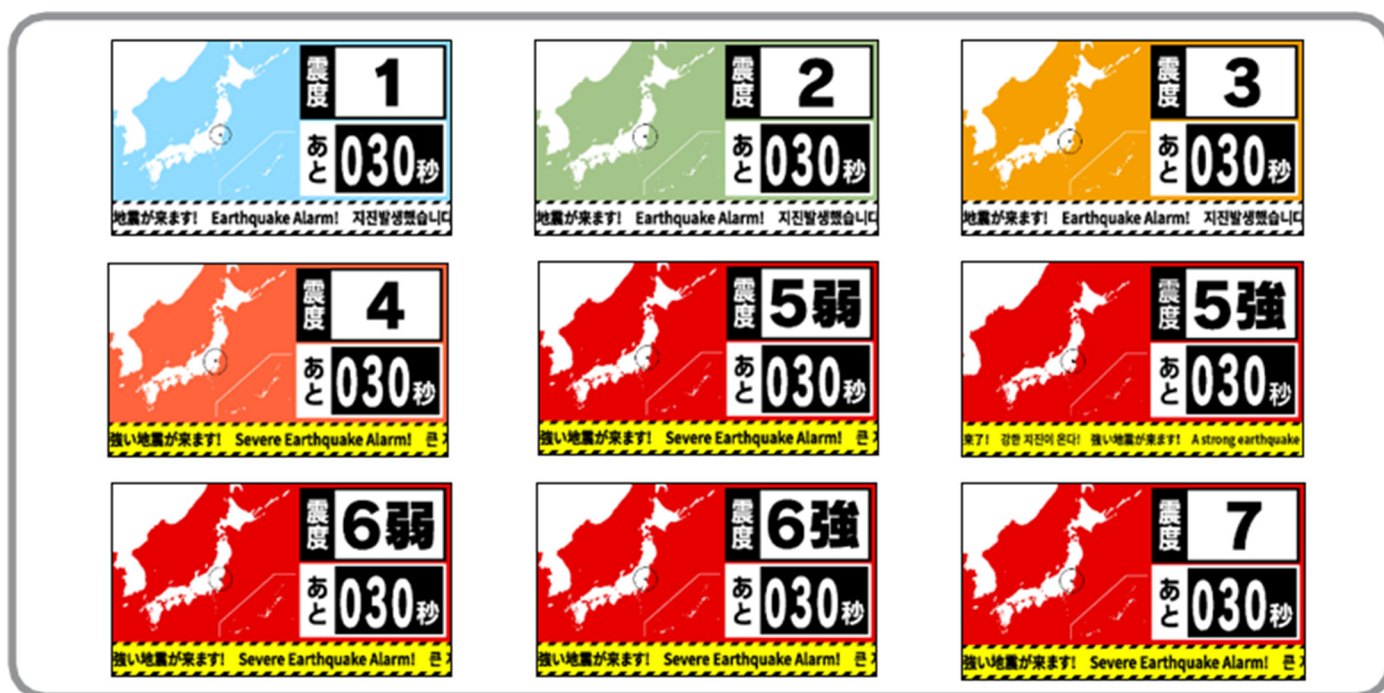
■ 「地震予報」表示内容②

◆ 地震予報画面の詳細

本機器の操作途中でも地震予報を行います。この時、音声案内は設定した表現（※1）により「地震震度X、SSS秒後…」、あるいは「X X X揺れが来ます」のように報知を開始します。

※ 1…設定した表現「P.22 告知サウンド設定」、「P.44 設定情報 1」を参照してください。

注：地震予報の報知中は、ボタン操作ができません。



※機器の操作中であっても、機器がサーバーから地震速報を受信した場合は予報報知を行います。

◆ キャンセル報について

ごくまれに緊急地震速報を報知した後にその速報自体をキャンセル（取り消し）する速報が流れる場合があります。

端末はこのキャンセル報を受信しますと「取り消します。先ほどの地震速報は誤報です。」という音声通知を行います。外部機器（放送連動など）を接続している場合は、直前の緊急地震速報（予報）が誤りだったと理解して頂き、落ち着いた行動をとっていただきますようお願い致します。

なお、機器はキャンセル報の受信可否の選択ができます。

「ウェブブラウザ基本設定（P.19）、キャンセル報の設定（P.71）」を参照してください

「津波予報・津波注意報・津波警報・大津波警報」表示内容

◆ 大津波警報・津波警報・津波注意報表示

気象庁から発表される津波情報の区域と本機器の設定の津波区域が一致した場合、報知します。

● 津波予報

予想される津波の高さが0.2 m未満の海面変動のため被害の心配はなく、特段の防災対応の必要がない場合

※津波からの影響がないと判断履歴にのみ記録しますが、**報知動作はしません。**

● 津波注意報



予想される津波の高さが0.2 m以上、1 m以下の場合報知

内容：「津波注意報発令」+ 指定の避難場所に避難してください。

「津波注意報発令」+ 海岸沿いから離れてください。

● 津波警報



予想される津波の高さが1 m超え、3 m以下の場合報知

内容：「津波警報発令」+ 指定の避難場所に避難してください。

「津波警報発令」+ 海岸沿いから離れてください。

● 大津波警報



予想される津波の高さが3 m超える場合報知

内容：「大津波警報発令」+ 指定の避難場所に避難してください。

「大津波警報発令」+ 海岸沿いから離れてください。

※非常に危険な状態を区分するために画面の色を赤で表示します。

● 津波解除



最初の警報・注意報よりも津波が小さい、あるいは発生しない可能性が高いことが確認できれば、気象庁から警報・注意報の切り替えや解除の情報を受信し報知します。

内容：「発令・発表を解除します。」

● 津波取消



発表された予測津波情報が誤報と判明された場合、津波誤報の情報を受信し報知します。

内容：「取り消します。先の発令・発表は誤報です。」

「地震履歴」表示内容

本機器は、過去に発生した 9 件の地震情報（受信電文情報の内、端末で予報した時のみ）を履歴として表示できます。

② 地震種類

③ 地震発生日時

④ 震源地の位置情報

⑤ 震源のマグニチュードと深さ

⑥ 到達予測震度
到達予測猶予時間

⑦ 震源位置表示

① 履歴番号

最新の報知した予報内容を履歴番号「1」として登録します。複数件になった場合は「2→3→4」と順次表示します。履歴が 9 件以上になった場合は、古い履歴から削除します。ウェブブラウザからは 730 日間の履歴が確認できます。

② 地震種類

地震の種類（地震 / 地震警報 / 通過地震 / キャンセル報 / 深発地震）を表示します。

③ 地震発生日時

地震が発生した日時を表示します

④ 震源地の位置情報

震源地の位置情報（緯度・経度）を表示します。

⑤ 震源のマグニチュードと深さ

震源のマグニチュードと深さを表示します。

⑥ 到達予測震度・到達予測猶予時間

実際に報知した予測内容を表示します。

⑦ 震源位置表示

詳細情報で表示した震源地を地図上で表示します。サークルの中心が震源地になります。

「設定情報」表示内容①

◆基本画面(待受け画面)

  	待受け
12:12:12	位置
2021年 01月 01日	設定 1
	設定 2

- 時計表示
- ネットワーク通信状態のアイコン表示
- UPDATE 有無のアイコン表示
- 確認していない地震発報履歴のアイコン表示

◆位置情報

緯度: 35.123456	位置
経度: 139.123456	設定 1
地盤増幅度: 2.113456	設定 2
サーバー: 123.145.167.189	設定 3

- 緯度・経度・地盤増幅度・配信サーバー確認

お客様が本機器を使用するにあたり登録した住所の固有 情報（緯度、経度、地盤増幅度）を表示します。

※ 設置場所情報は周期的に確認し、機器へ自動的に設定されます。

※ 本機器の設置場所情報はお客様による手動設定ができません。設置場所変更の際にはご購入された販売元にお問い合わせください。

◆設定情報 1

設定震度: 3	位置
音声設定: NHK / 詳細	設定 1
AF出力: 03 秒	設定 2
RF出力: OFF	設定 3

- 震度レベル設定確認

演算結果が設定されている予報震度レベル以上である時に報知動作を行います。

（工場出荷時の予測震度震度レベル:「震度 3」）

- 音声関連設定の情報確認

地震予報を報知する時の冒頭音と表現方法を表示します。

①冒頭音

無音 / REIC / NHK から設定された冒頭音を表示します。

②音声出力表現

-詳細表現 … 予報の内容を数値で表現します。

-曖昧表現 … 予報の内容を言葉で表現します。

（例：物が倒れるぐらいの揺れがまもなく来ます）

◆設定情報 2

訓練法: ON	位置
キャンセル: OFF	設定 1
通過地震: ON	設定 2
深発地震: ON	設定 3

緊急地震速報受信設定が確認できます。

「設定情報」表示内容②

◆設定情報 3

警報設定： ON	位置
電文の確からしさ： 全電文	設定 1
	設定 2
	設定 3

緊急地震速報受信設定が確認できます。

◆接点情報

DIN： TYPE 2	設定 3
DO1： 3 ： ： AF連動	接点
DO2： -- ： -- ： --	PROXY
DO3： -- ： -- ： --	NET
DO4： -- ： -- ： --	

接点について出力設定（DO1、DO2、DO3、DO4）および入力（DIN）の設定情報が確認できます。

DO： 震度 / ディレー時間 / 出力時間

DIN：TYPE1（1 点以上入力）、TYPE2（2 点以上の入力） TYPE3（3 点入力）

◆PROXY 情報

PROXY： OFF	設定 3
Sur：	接点
Port：	PROXY
ID：	NET
PWD：	

PROXY 設定の内容が確認できます。

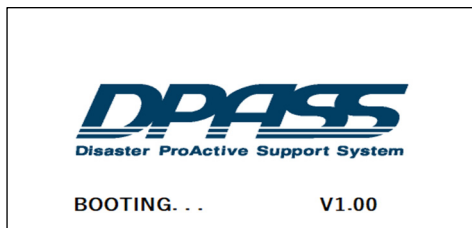
◆ネット情報

DHCP： ON	設定 3
IP： 192.168.100.100	接点
N/M： 255.255.255.0	PROXY
G/W： 192.168.100.1	NET
DNS： 192.168.100.1	

本機器のネットワーク設定情報が確認できます。

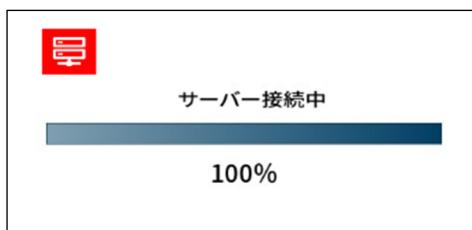
■ その他の表示内容

◆起動画面



電源投入時、あるいは本機器の初期化を行っているときに表示します。

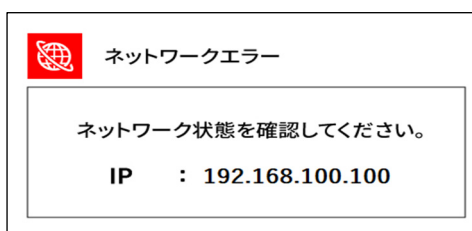
◆接続確認画面



初期化の後、インターネットを経由しサーバーから設定情報を受信しているときに表示します。

※ 接続ができないとエラー画面が表示されます。

◆ネットワークエラー画面

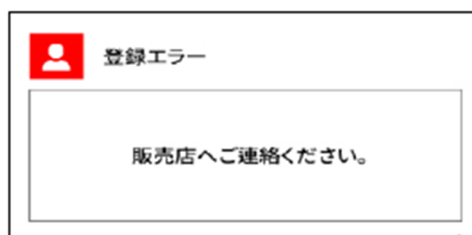


「ネットワークエラー」

お客様のネットワーク環境に問題がありサーバーと通信できないときに表示します。

お客様のネットワーク環境を確認してください。

◆登録エラー画面

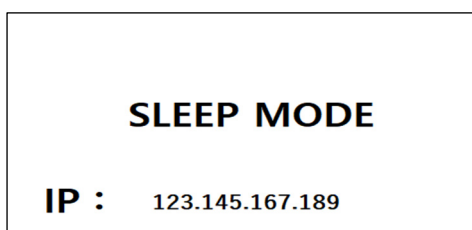


「登録エラー」

ネットワークエラーによるサーバーと通信できない時間が110時間続くと、端末は休止状態になりこの画面が表示されます。

復旧方法については販売店にお問い合わせください。

◆スリープ画面



「スリープモード」

ウェブブラウザから設定された曜日 / 時刻により、スリープモードに移行した際の画面表示です。

スリープモード起動時には端末操作ができないため、ウェブブラウザ接続情報として機器に設定されているIP アドレスを表示しています。

スリープモード起動時設定を変更したい場合はウェブブラウザに例) IP : 123.145.167.189 を入力して変更してください。

■ 本体メインメニュー表示

本機器の設定を行います。

1. ホーム画面

設定画面から待受け画面に戻ります。



2. 地震設定

報知震度設定、訓練報、キャンセル報、通過地震、深発地震の受信設定に移動します。



3. 本体設定

本体音量、画面の明るさ、言語設定に移動します。



4. 外部接続設定

本機器の外部出力設定画面に移動します。

AF 設定、DO1～DO4、DI 設定画面に移動します。



5. ネットワーク

DHCP、固定 IP 設定画面に移動します。



■ 本体メインメニュー表示

本機器の設定を行います。

6. アップデート

本機器のアップデート確認画面に移動します。



7. 初期化

ネットワーク初期化、本体初期化設定画面に移動します。



8. 端末情報

本機器の識別 ID 番号、MAC アドレス情報、バージョン情報が表示されます。



9. ラジオ

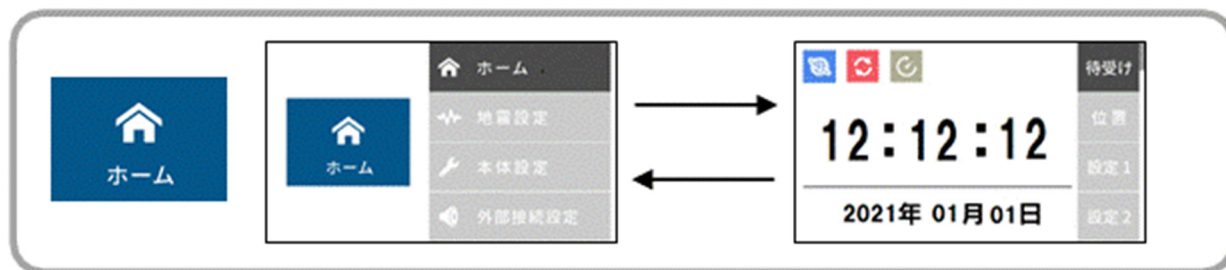
NHK ネットラジオ ON/OFF 設定画面に移動します。



■ サブメニュー表示

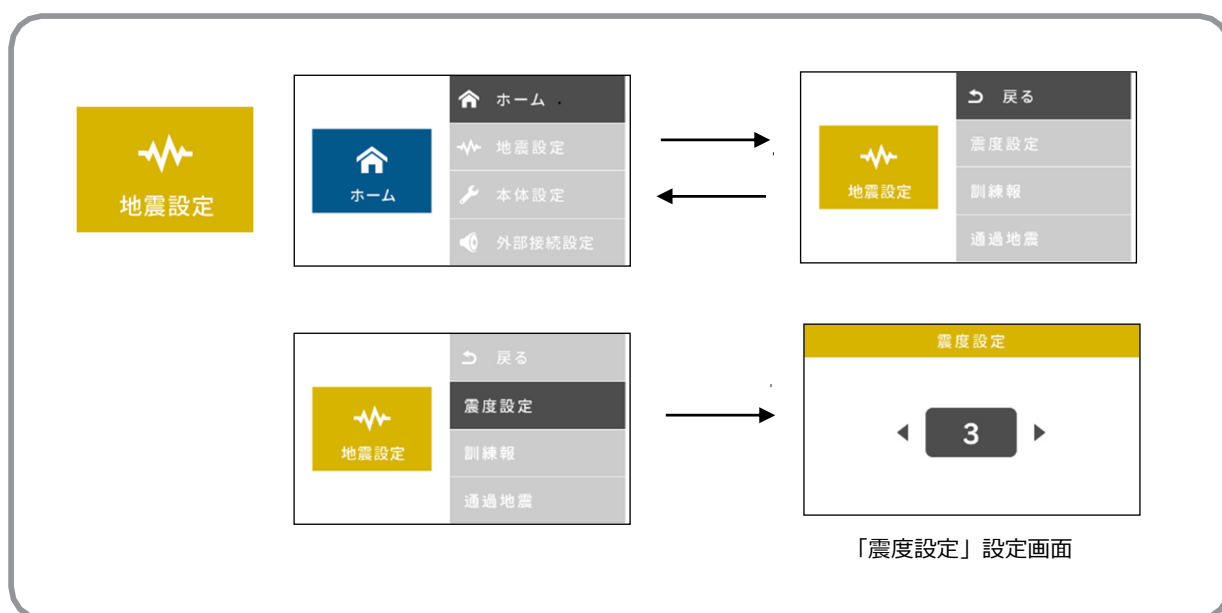
1. ホーム画面

メインメニューから待受け画面に戻ります。



2. 地震設定

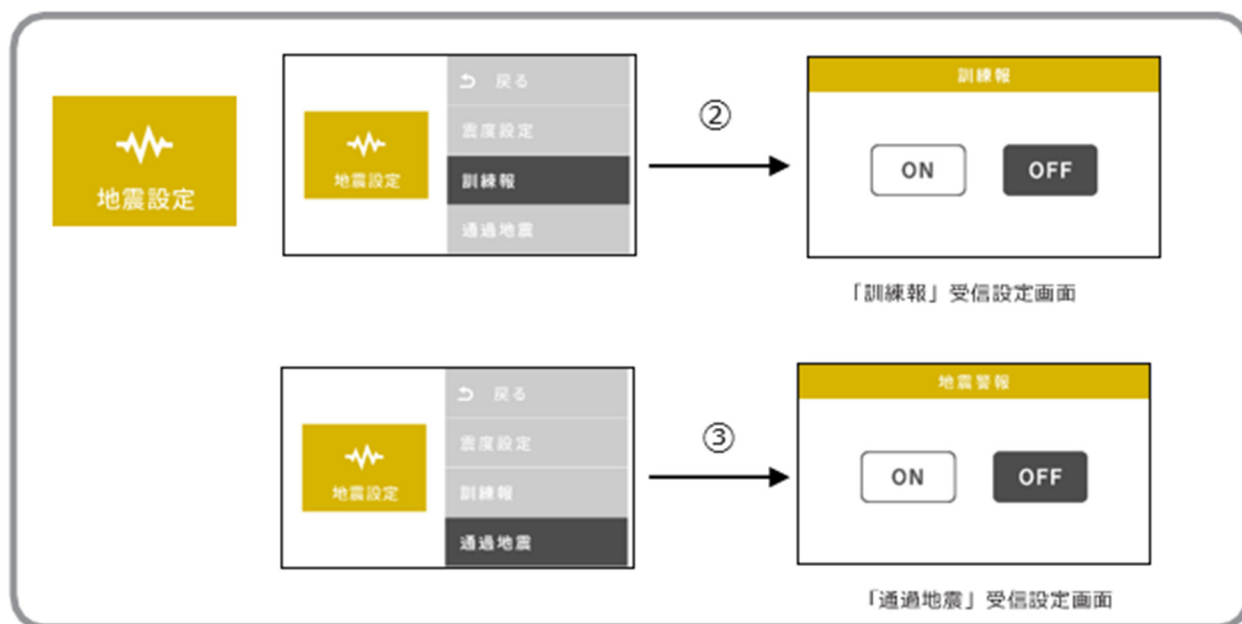
報知震度、訓練報、キャンセル報、通過地震、深発地震受の受信設定に移動します。



① 報知震度設定

この画面に表示される震度以上の地震のみ報知動作を行います。

(設定方法については、P.19、P.65 参照)



② 訓練報

気象庁の訓練報や配信事業者の配信システムから配信される訓練用の緊急地震速報電文を受けて機器を報知動作させるかを設定します。

（設定方法については P.19、P.66 参照）

ON	訓練報による報知動作を行います。
OFF	訓練報による報知動作を行いません。

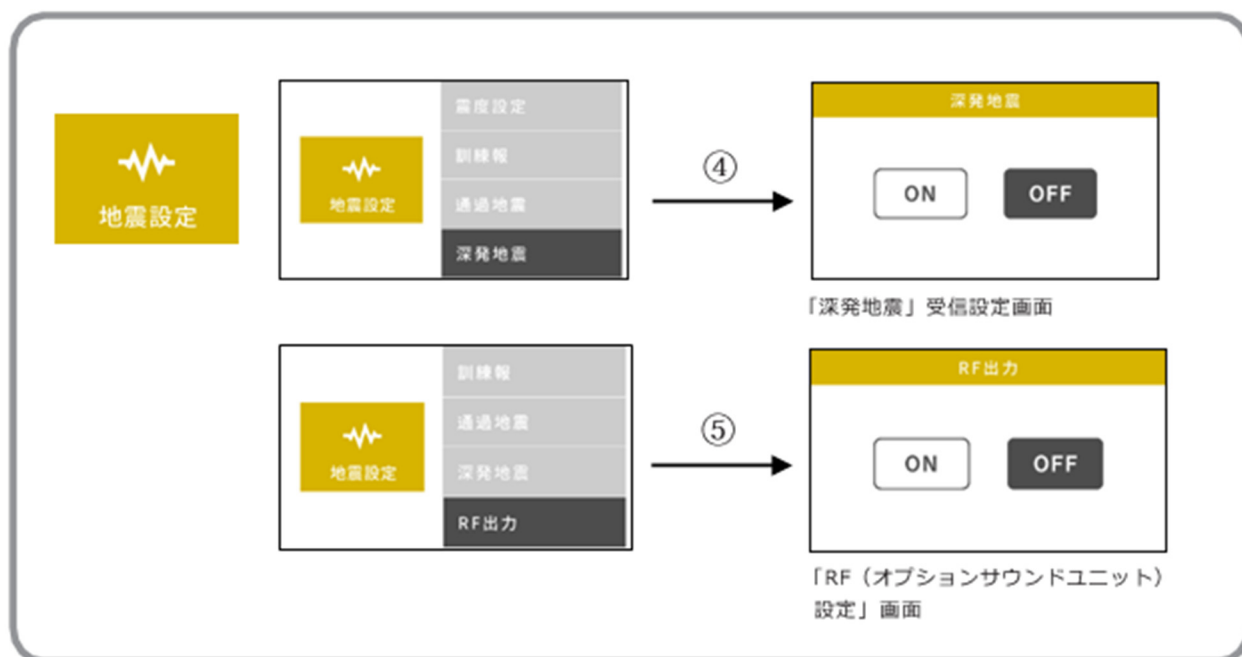
③ 通過地震

大きな揺れである S 波（主要動）の予測猶予時間がマイナスの場合（到達済の地震）に対して報知動作させるかを設定します。

（設定方法については P.19、P.67 参照）

ON	予測猶予時間が「-10 秒」までの地震に対して報知動作を行います。 報知音声はマイナス秒の場合であっても「地震 震度 x」となります。
OFF	予測猶予時間が「+1 秒」以上の地震に対して報知動作を行います。

※本機器の緯度経度設定付近で地震が発生した場合や直下型地震等では S 波の到達予測猶予時間が報知動作に間に合わない可能性があります。このような場合においても報知動作させたい時は通過地震設定を「ON」にすることで報知動作の許容を拡大することができます。



④ 深発地震

震源の深さが 150km よりも深い地震に対して動作させるかを設定します。

震源の深さが 150km 以遠の場合、予測結果に大きな誤差を含む可能性が高くなります。

（ 設定方法については P.19、P.68 参照 ）

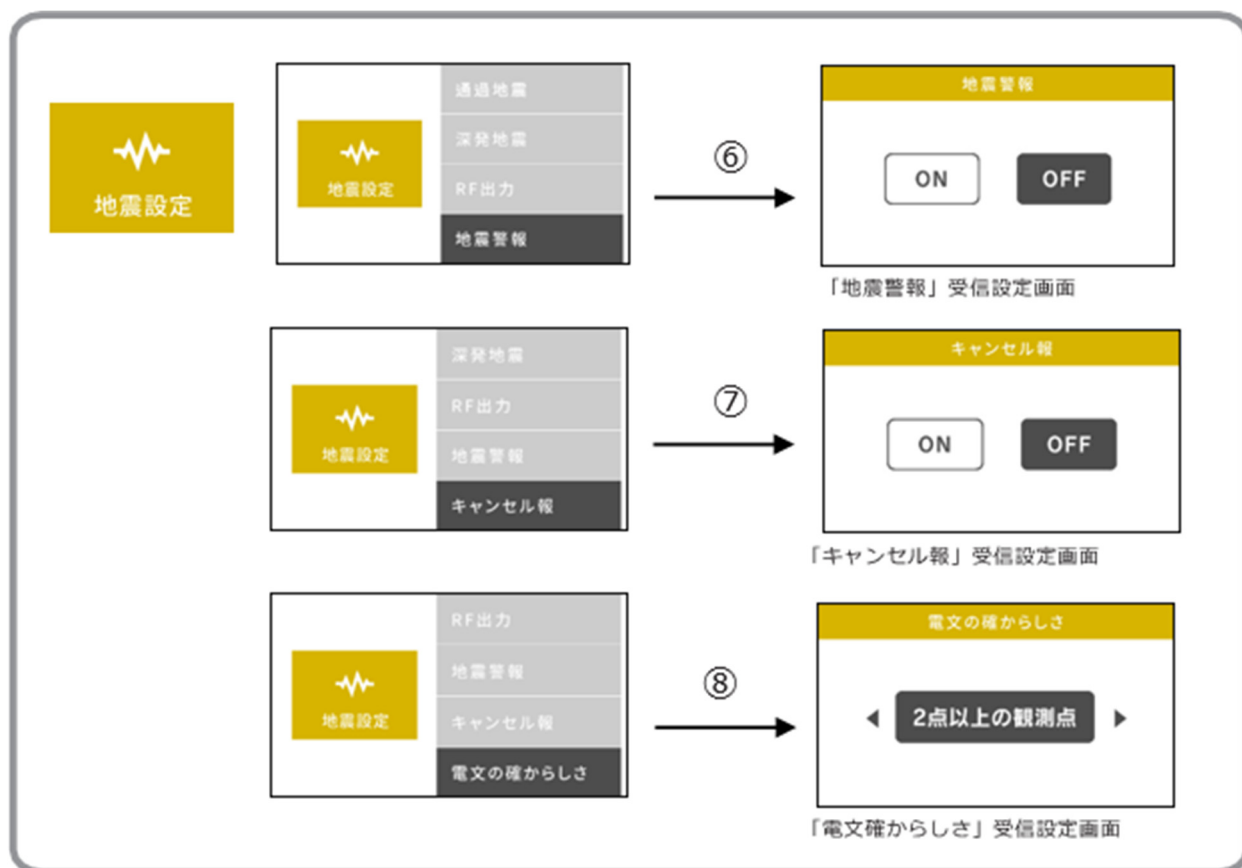
ON	深発地震による報知動作を行います
OFF	深発地震による報知動作を行いません。

⑤ RF 出力

本製品からオプションサウンドユニットに対して無線電波（RF）信号出力有・無を設定します。

（ 設定方法については、P.19、P.69 参照 ）

ON	オプションサウンドユニット向けの無線電波 (RF) を送信します。
OFF	オプションサウンドユニット向けの無線電波 (RF) を送信しません。



⑥ 地震警報

本機器設置場所に気象庁から地震警報が発表された場合、地震警報を報知する機能です。
(詳細な説明及び設定方法については、P.19、P.70 参照)

ON	地震警報による報知動作を行います。
OFF	地震警報による報知動作を行いません。

⑦ キャンセル報

キャンセル報受信時に報知動作させるかを設定します。(設定方法については P.19、P.71 参照)

ON	キャンセル報による報知動作を行います。
OFF	キャンセル報による報知動作を行いません。

⑧ 電文確からしさ

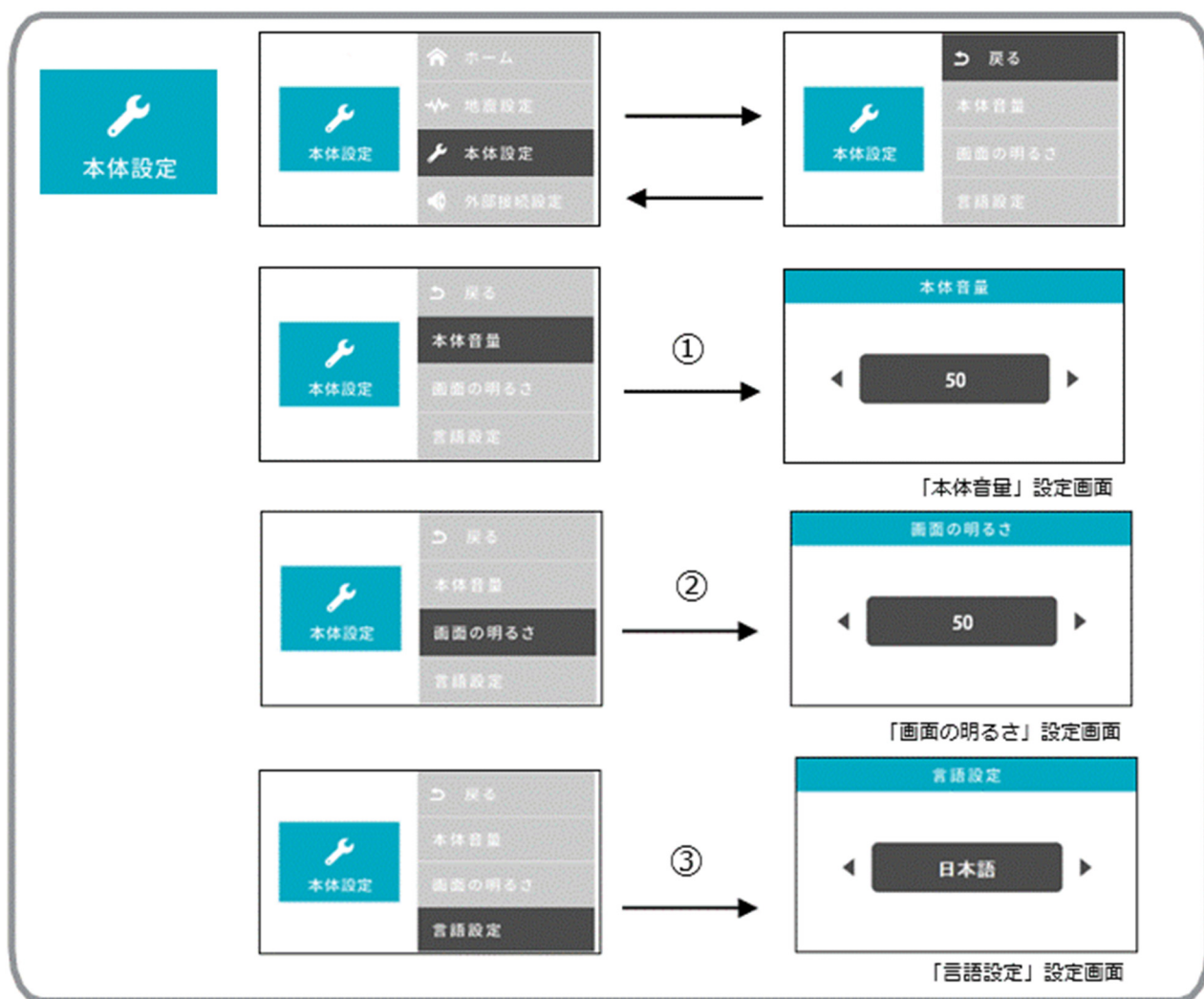
気象庁から配信される電文の観測点数情報から報知動作の制御ができます。

「全電文/2 点以上観測点」設定を行います。(設定方法については P.19、P.72 参照)

全電文	気象庁から配信された電文を全て演算し、報知動作を行います。
2点以上観測点	気象庁から配信された電文の中から2点以上観測点情報が確認された電文を演算し、報知動作を行います。

3. 本体設定

本体音量、画面の明るさ、言語設定画面に移動します。



① 本体音量

大きな本体内蔵されたスピーカーのボリューム調整設定ができます。
0 から 100 まで設定ができます。

② 画面の明るさ

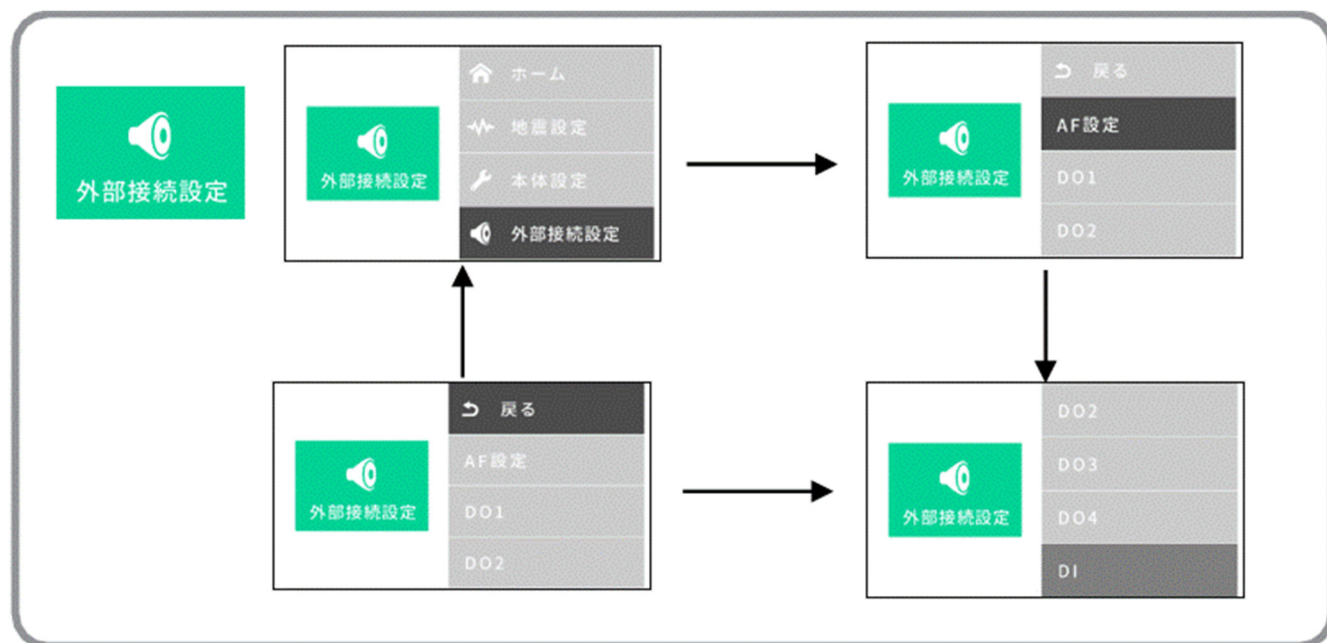
本体画面の液晶の明るさ調整設定ができます。
明るさ 0 から 100 まで 5 単位で調整することができます。

③ 言語設定

地震受信した際に案内アナウンス音声言語設定ができます。
6 ヶ国言語の音声設定ができます。
(英語、日本語、中国語、韓国語、フランス語、スペイン語)
※初期設定値は日本語になります。

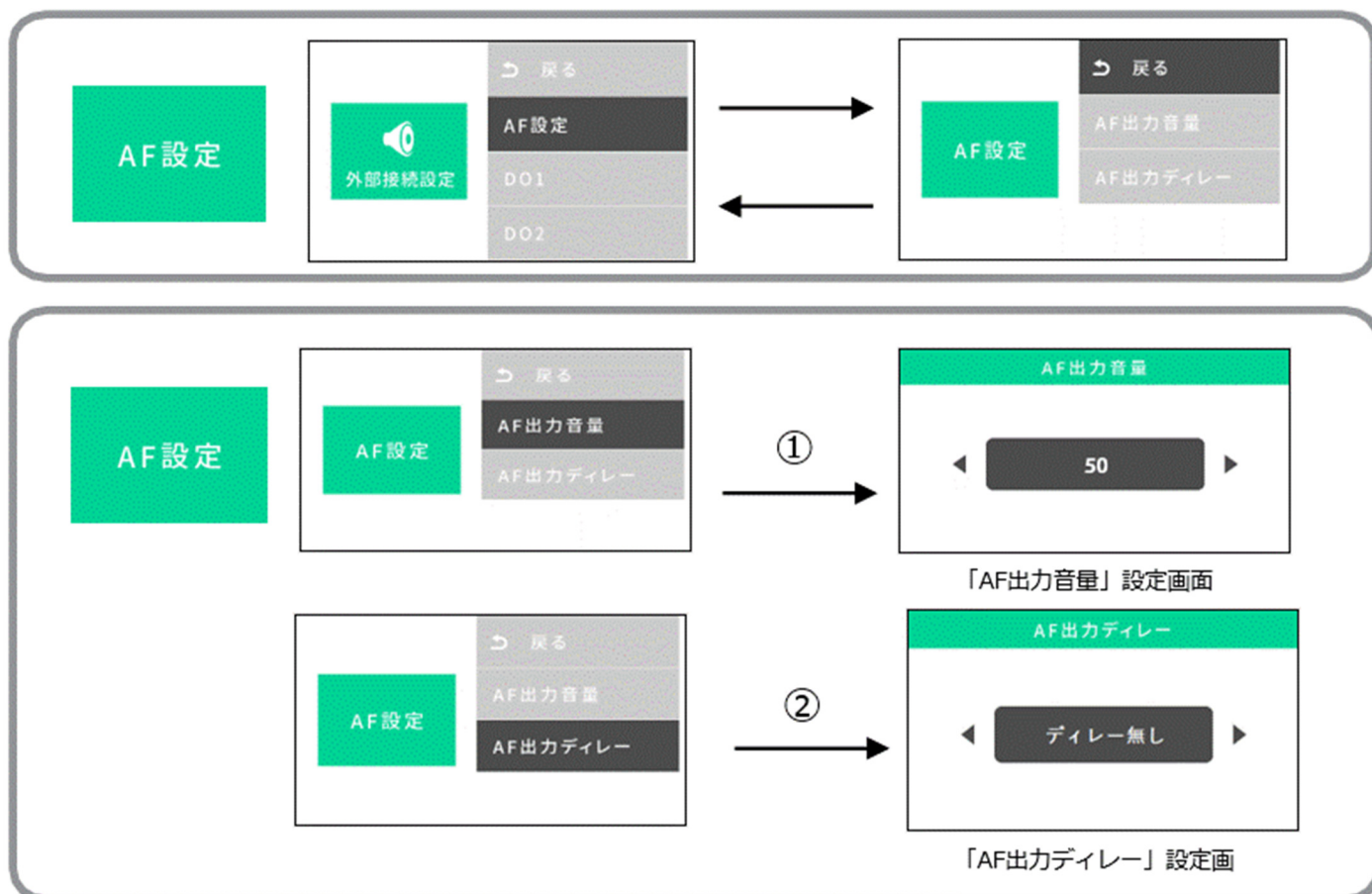
4. 外部接続設定

AF 設定、DO1～DO4、DI 設定画面に移動します。



4-1.AF 設定

AF 出力音量、AF 出力ディレー設定画面に移動します。



① AF 出力音量設定

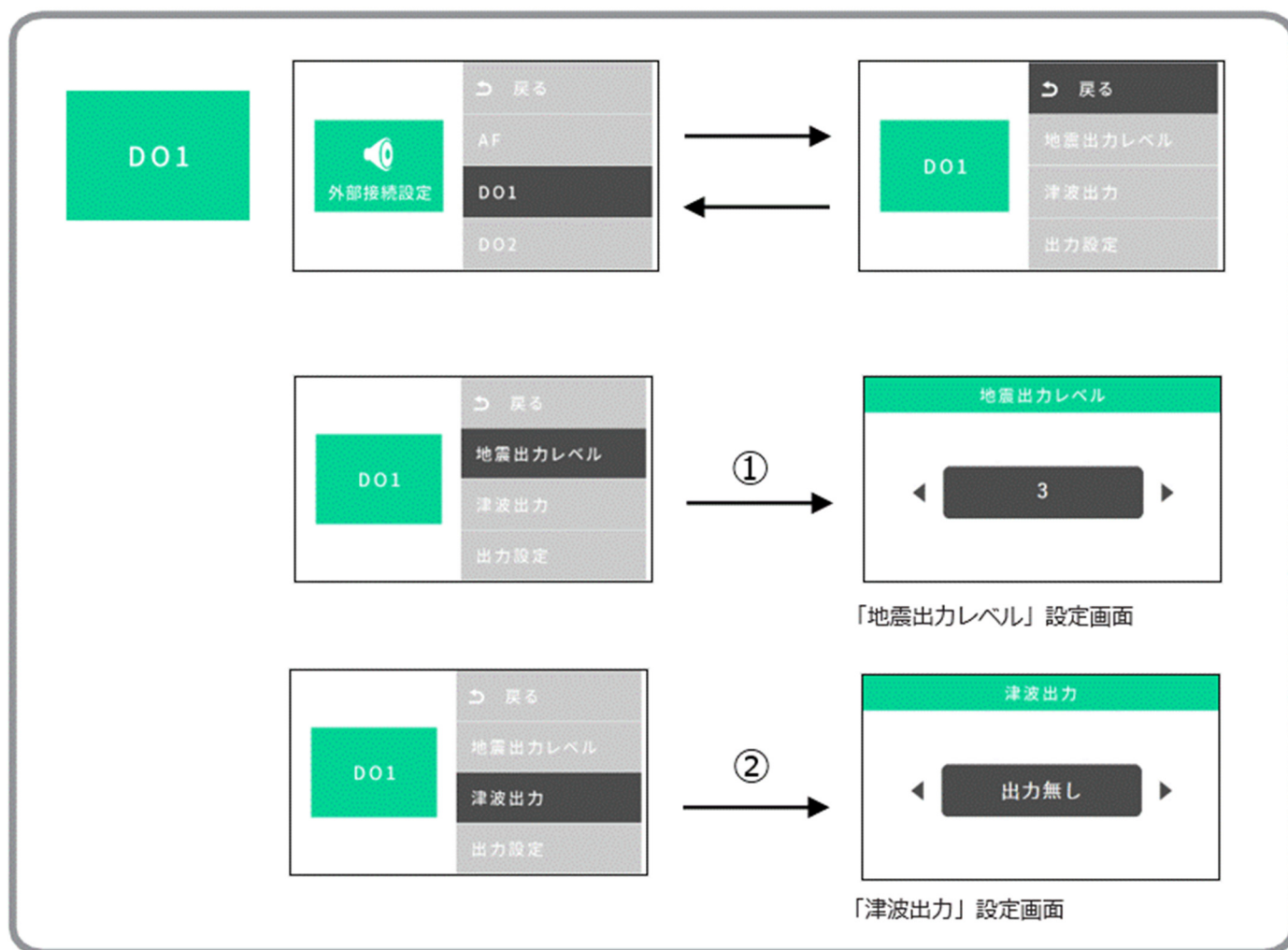
外部放送設備に出力音量調整設定ができます。設定できる音量は 0～100 まで。

② AF 出力ディレー設定

DO の出力タイミング（発報時）に対して音声出力開始タイミングを遅らせたい場合を設定します。

※デフォルト：ディレー無し、（ディレー無し、1～10 秒）

4-2.DO1～DO4 設定



① 地震出力レベル

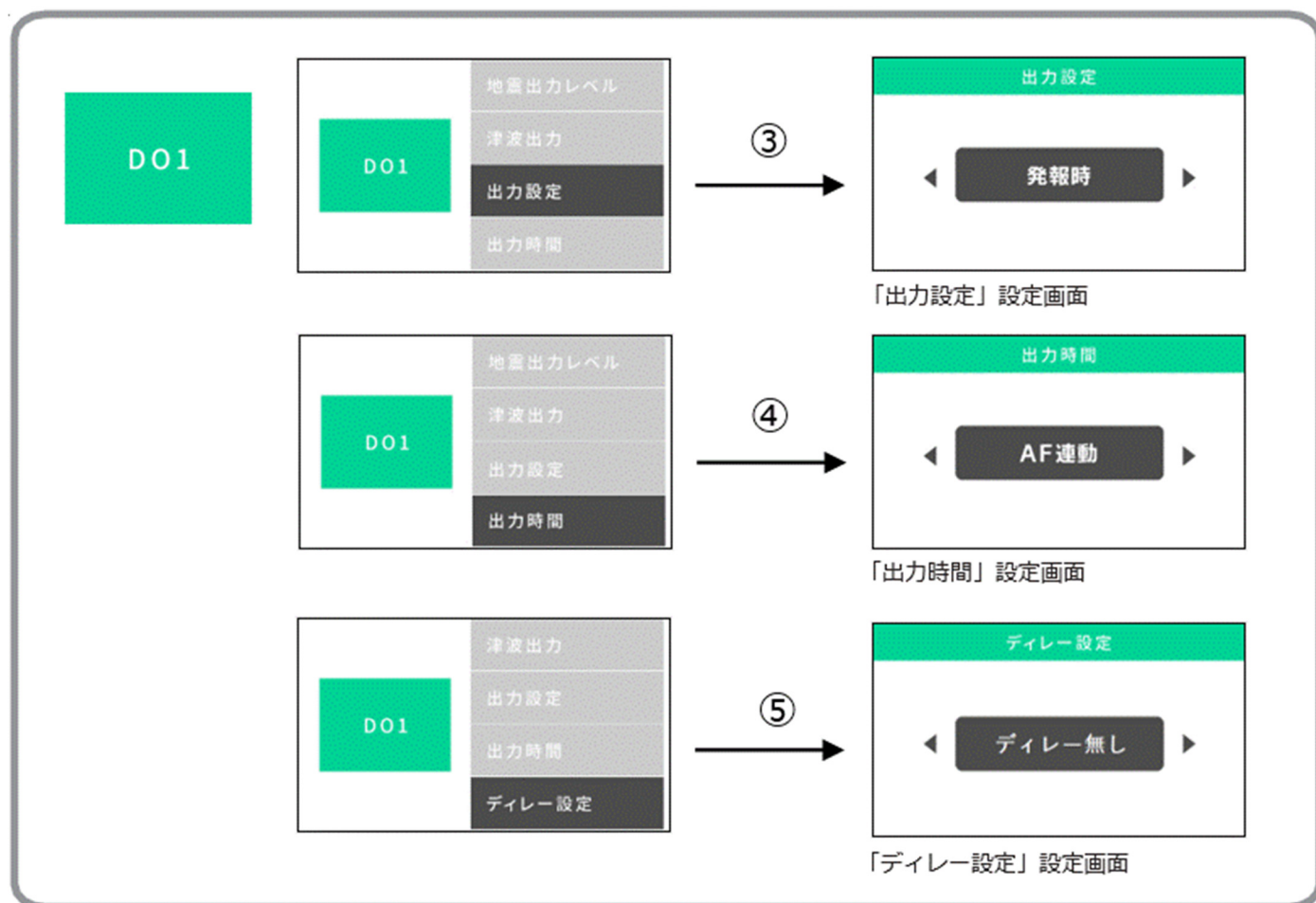
予測震度が設定した震度以上の地震のときに、接点を出力します。

本装置の報知震度（P.49 参照）とは別に、「震度 1、2、3、4、5 弱、5 強、6 弱、6 強、7」から設定できます。

② 津波出力

外部放送設備への音声出力を設定します。

※デフォルト：出力無し、（出力無し、出力する、津波解除・取消のみ出力）



③ 出力設定

本機器の地震報知動作の同時に外部放送設備への音声出力を設定します。
(報告時、報知後)

④ 出力時間

本機器より外部放送設備への出力時間を設定します。
「200m～900m、1～300 秒」、「連続」、「AF 連動」の選択ができます。

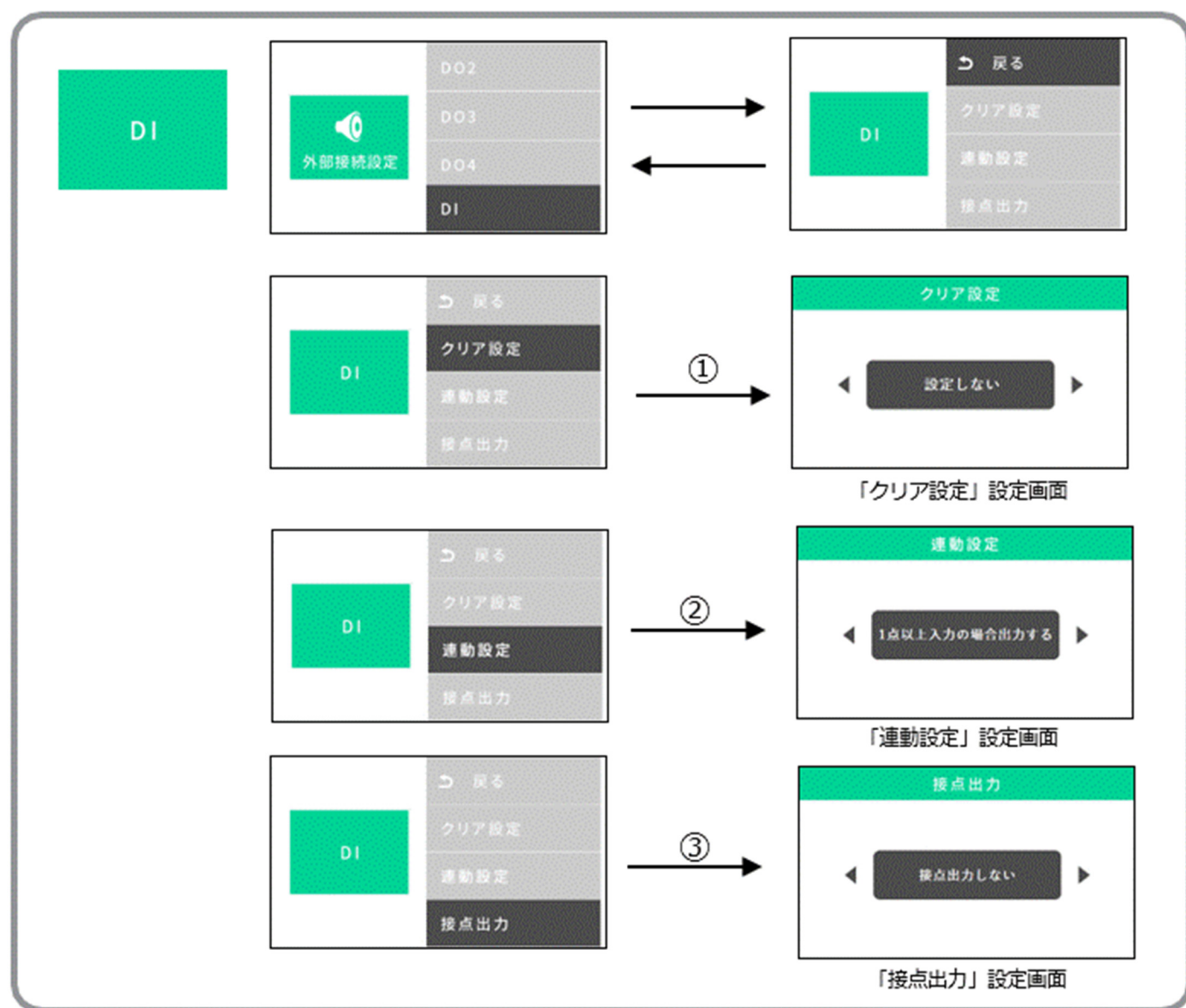
⑤ ディレー設定

接点出力タイミングを遅らせることができます。
(100m～900m、1～10 秒)

※DO2～DO4 上記と同様の設定になります。

4-3.DI 入力設定

入力の設定画面に移動します。



① クリア設定

外部接点入力端子（DI1、DI2、DI3）から入力された信号を利用し、出力中の接点をクリアさせます。

② 連動設定

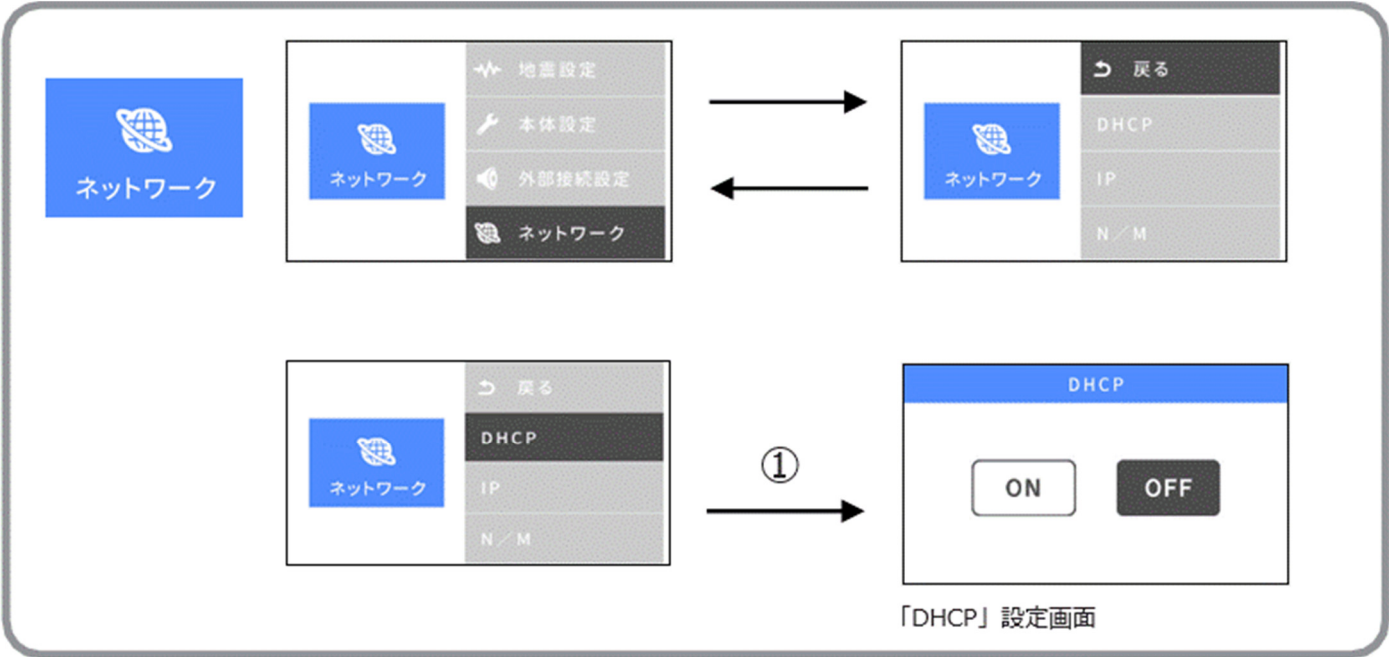
外部接点入力端子（DI1、DI2、DI3）からトリガー設定（1点、2点、3点）以上の接点入力があった場合、指定した接点出力ポート（DO1、2、3、4）から接点を出すことができます。

③ 接点出力

上記②DI 連動設定により、接点出力ポート（DO）を選択することができます。
（接点出力しない、DO1、2、3、4へ出力する）

5. ネットワーク設定

DHCP、固定 IP 設定画面に移動します。



① DHCP 設定

本機器のネットワーク設定方法を設定します。
(※固定 I P の設定設定方法については、P.21、P73 参照)

ON	ネットワーク設定情報を自動取得します。
OFF	手動設定されたネットワーク情報を適用します。(固定IP 設定対応)

6. アップデート

本機器のアップデート確認画面に移動します。

アップデートの流れ

1) 新しいバージョン情報を確認します。

有無は基本画面（時計画面）の右上で確認できます。（P.39 参照）

2) 新しいバージョン情報があると色が反転されますので、

バージョンアップを実行してください。バージョンアップは新しいバージョン情報があるときのみ実行が可能です。

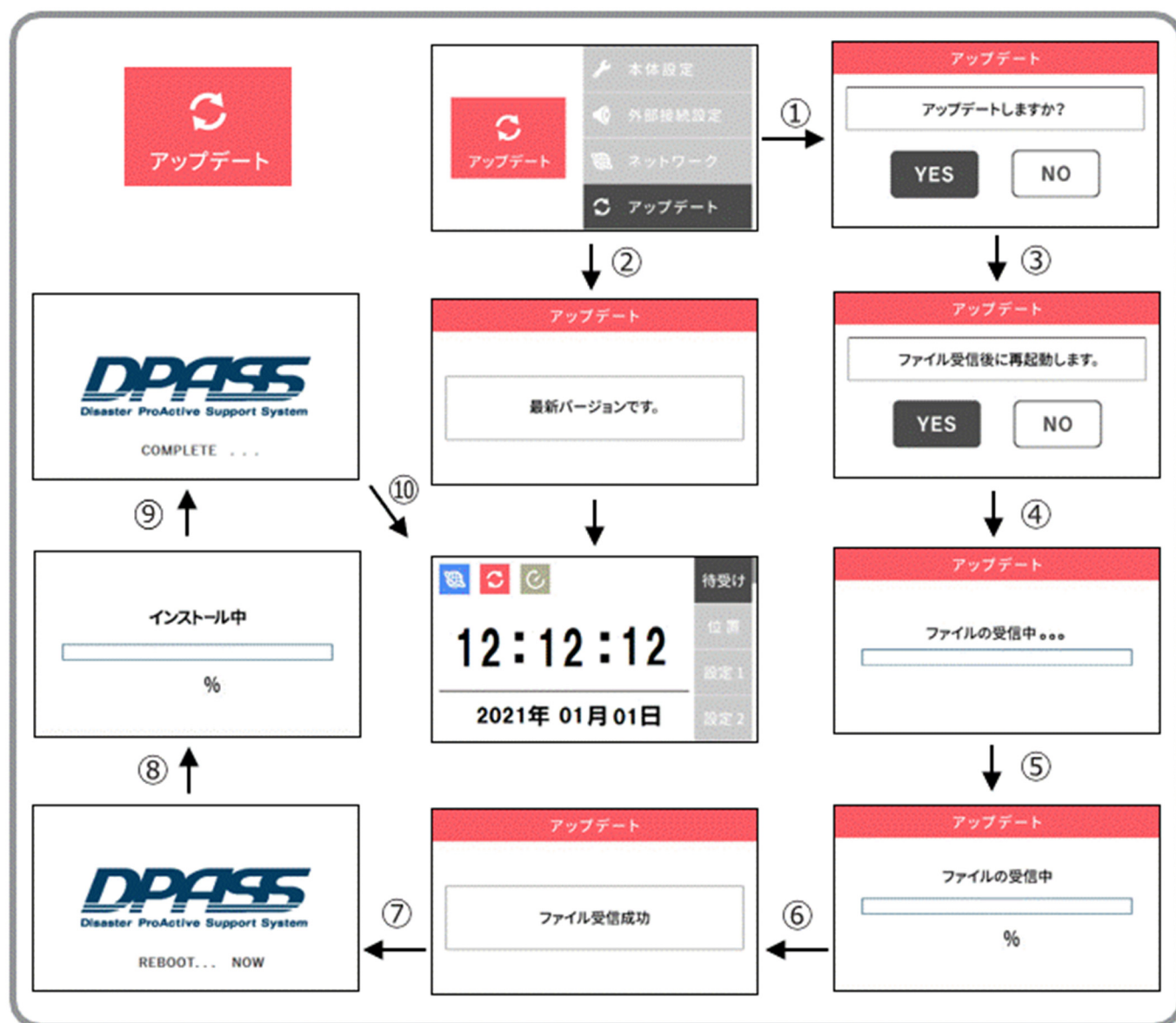
3) 本体の決定◎ボタンを長押ししてメインメニューに移動します。

アップデートを行う場合は上記の画面に従いアップデートを行ってください。

※アップデート時には機器の再起動が必要になります。アップデート終了まで2分～3分程度かかりますので、その間は緊急地震速報など電文受信ができなくなり、報知することができません。

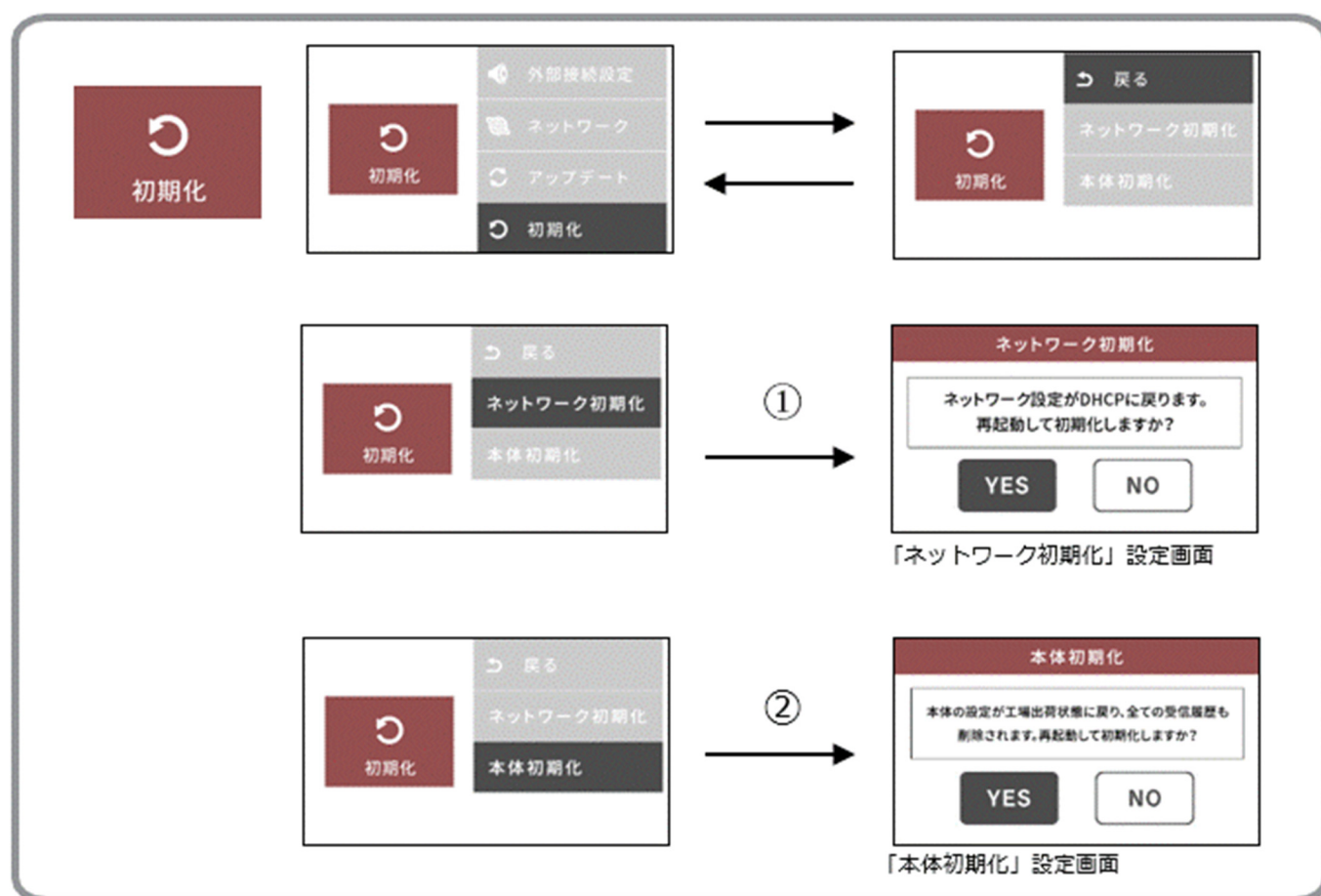
※注意事項を確認の上、アップデートを行ってください。

※上記のイメージの④～⑩は自動的に実行され、再起動及びアップデート内容の適用後、⑩の基本画面（時計画面、待受け画面）に戻ります。（アップデートする前の設定内容はそのまま維持します。）



7. 初期化

本機器のネットワーク、本体初期化画面に移動します。



① ネットワーク初期化 設定

本機器のネットワーク設定方法を設定します。

② 本体初期化 設定

本機器のネットワーク設定方法を設定します。

8. 端末情報

本機器の識別 ID 番号、MAC アドレス、バージョン情報が表示されます。



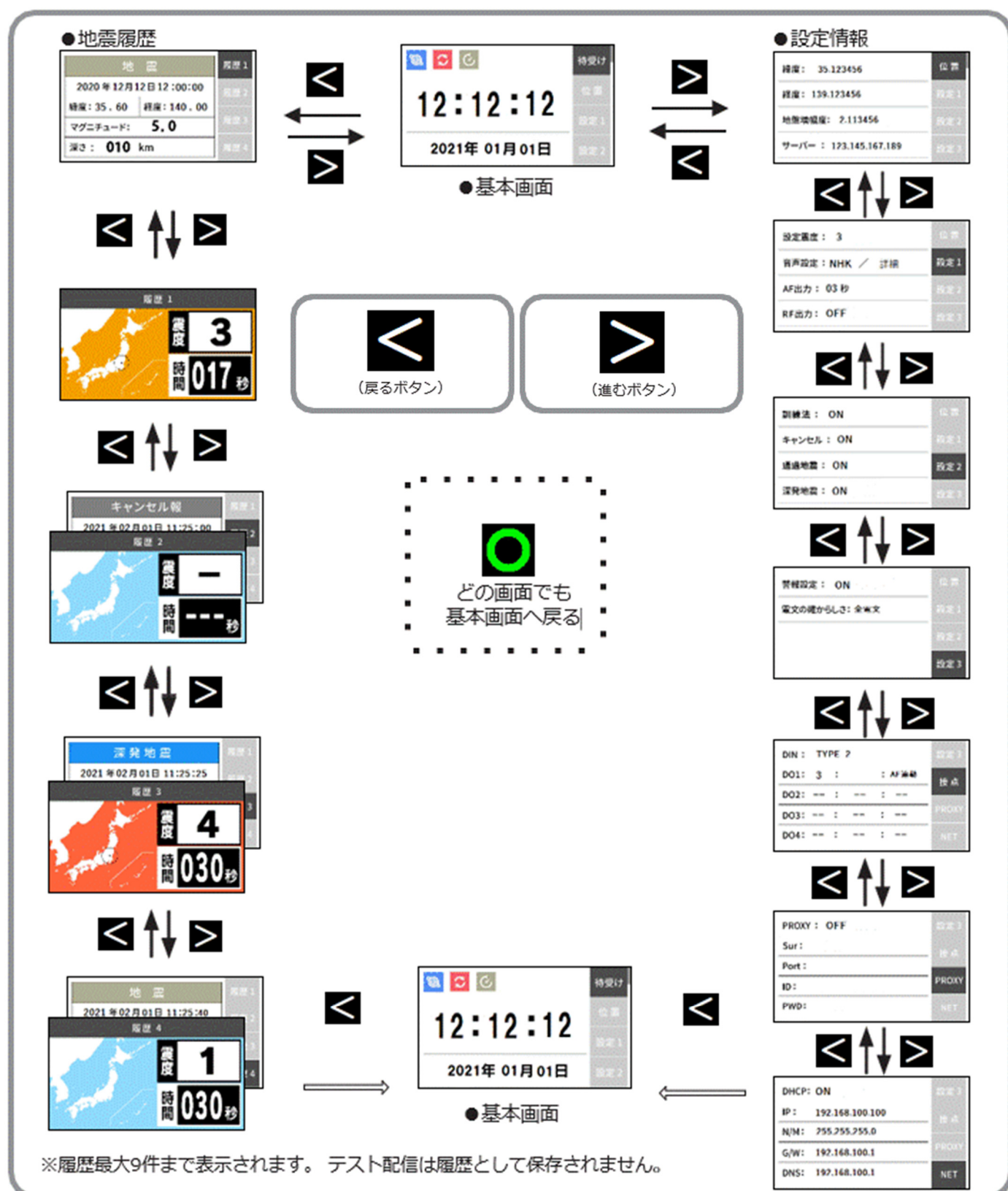
本機器の識別 ID 番号 (QAKXXXXXXX)、MAC アドレス、バージョン情報が確認できます。

9. ラジオ

NHK インターネットラジオ設定画面に移動します。



「地震履歴」 & 「設定情報」の参照操作の画面遷移図



「設定」画面でのボタン操作

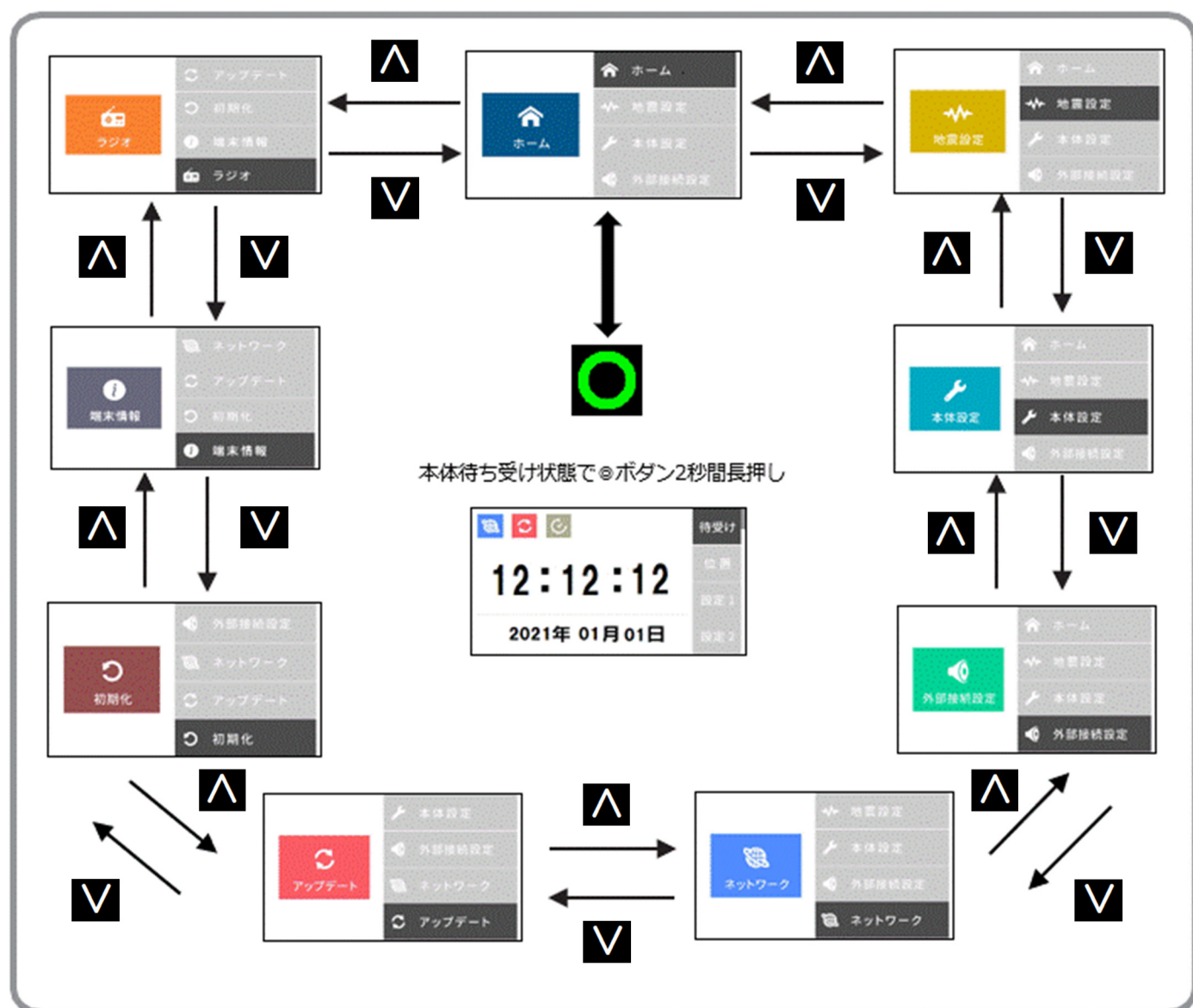
設定画面へ移動するときは  ボタンを2秒長押ししてください。



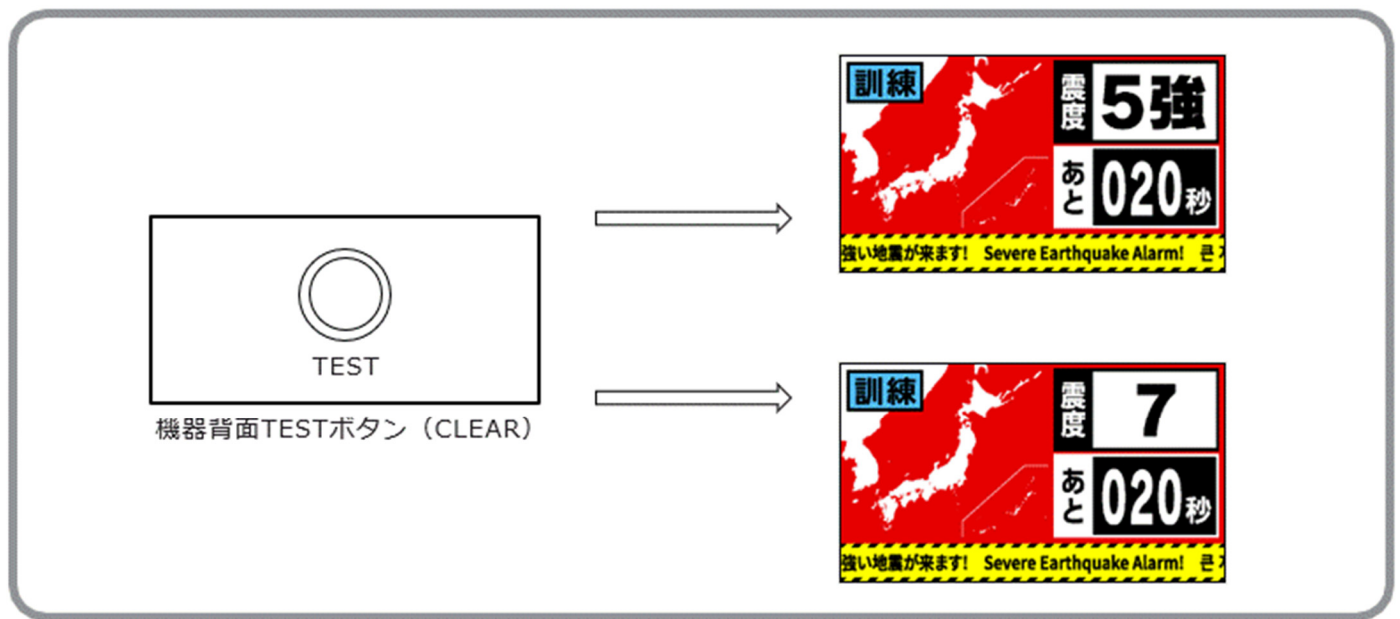
(戻るボタン)



(進むボタン)



■「報知テスト」の操作



本機器の背面 TEST ボタンを約 2 秒長押することにより、地震速報のテストの報知が実行できます。
一回目は震度 5 強、二回目は震度 7、三回目は震度 5 にもどり報知します。

テスト報知内容

- ・「訓練です。震度 5 強、18 秒後」
- ・「訓練です。震度 7、18 秒後」

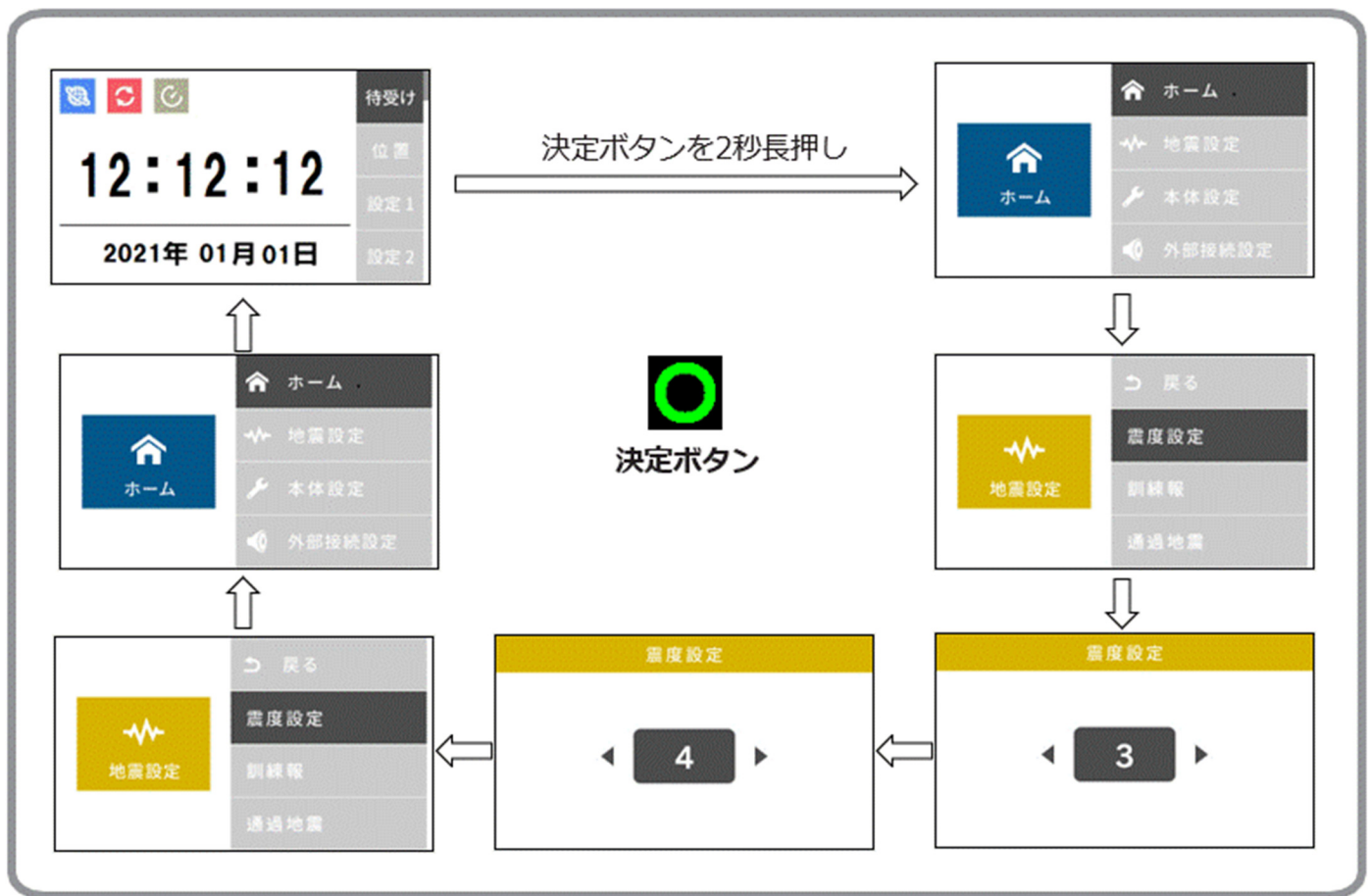
予測猶予時間は 20 秒ですが、冒頭音「訓練です」と震度情報「震度 X」報知で 2 秒を使っていますので、報知される猶予時間は 18 秒で報知されます。

※ 報知中地震速報が来た場合は地震速報を優先に報知動作を切り替えます。

※ 報知途中、再度 TEST ボタンを長押ししますと報知の停止ができます。

※ ウェブブラウザからもテストできます。(P.36 参照)

「報知震度」の設定



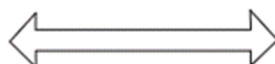
- 基本画面から◎ボタン長押し⇒メインメニューから「地震設定」を選択⇒震度設定に移動し◎で選択
- 戻る ◀ ボタンと進む ▶ ボタンを押すことによって数値を上げ / 下げができます。希望の数値に合わせて後、決定◎ボタンを押してください。設定数値を保存後、「震度設定」画面に戻ります。
- 予報レベルは1～4、5弱、5強、6弱、6強、7から選択できます。
- 工場出荷時の設定は、「3」に設定されています。

※ウェブブラウザからも設定できます。(P.19 参照)

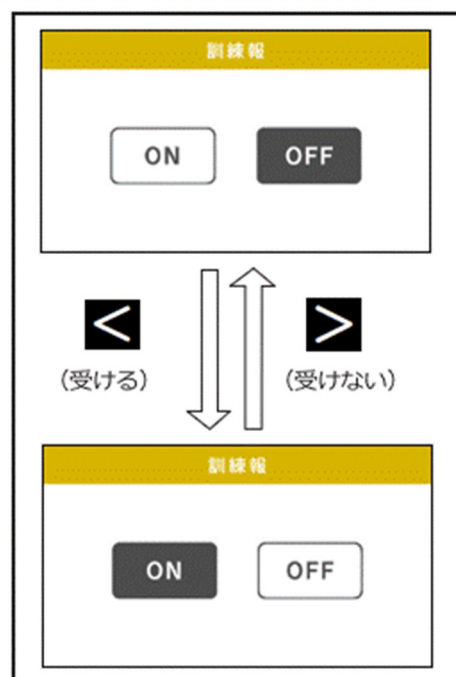
「訓練報」の設定



・訓練報の場合は画面履歴が残りません。



(決定ボタン)



- 緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかであり、その短い間に、あわてずに身を守るなど適切な行動をとるためには日ごろからの訓練が重要です。

気象庁では、毎年11月5日津波防災の日頃に(※1)、訓練用の緊急地震速報(以下「訓練報」といいます。)を配信しますので、家庭や民間企業等の皆様は、受信端末で伝達される訓練報を見聞きすることにより、机の下に隠れるなど、身の安全を確保するための行動を試してください。この訓練では、全国的に受信端末を起動させる必要があることから、震源要素が異なる複数の訓練報を、短時間(10数秒程度内)に、連続して配信する計画です。

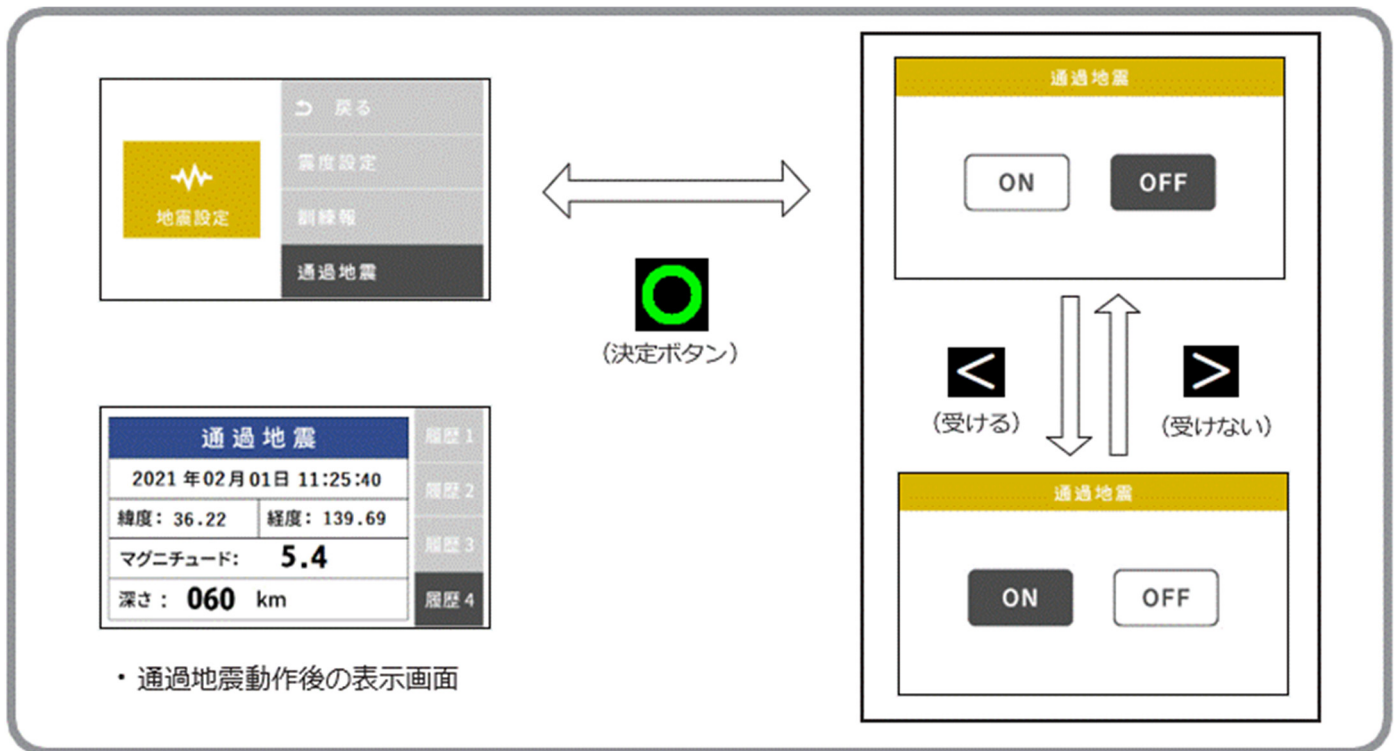
お住まいの地域や受信端末の設定状況によっては、受信端末が複数回動作することがあります。訓練報を受信した際に、お持ちの受信端末がどのように動作するかについては、ご購入された販売店にお問い合わせください。

※1…訓練報、実施日は見直される場合があります。また、地震の発生状況等により、訓練用緊急地震速報の配信を中止する場合があります。

- 決定○ボタンを長押しし、「ホーム」画面が表示されたら「地震設定」を選択します。
- 「地震設定画面」で「訓練報」を選択して決定○ボタンを押し、「訓練報」の選択画面に入ります。
- 戻る<ボタン、進む>ボタンを押すことによってON / OFFの選択をします。希望の設定に合わせた後、○決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定画面」に戻ります。
- 訓練報を「ON」に設定した場合は、気象庁の訓練報および配信事業者からの配信テストに対して動作し、予測演算結果が設定震度以上になった場合「訓練です。震度X、SS秒後」(詳細表現選択時)と報知します。「OFF」に設定した場合は、訓練報および配信テストに対して動作しません。
- 工場出荷時の設定は、「OFF」に設定されています。

※ウェブブラウザからも設定できます。(P.19 参照)

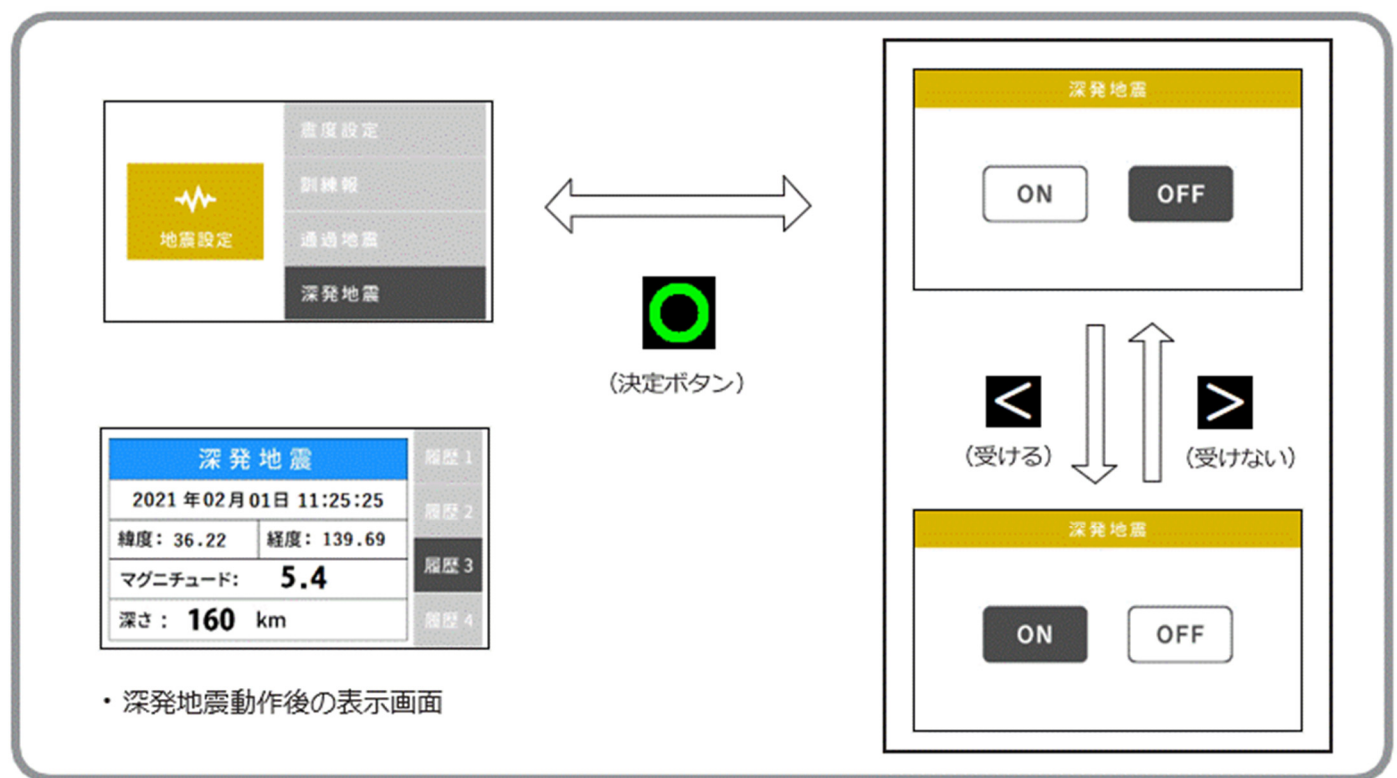
■「通過地震」の設定



- 「地震設定画面」で「通過地震設定」を選択して決定ボタンを押すと、「通過地震」の選択画面に入ります。
- 戻る ボタン、進む ボタンを押すことによって ON / OFF の選択をします。希望の設定に合わせた後、決定 ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定画面」に戻ります。
- 通過地震は、地震到達猶予時間が無い（予報が間に合わない）場合（－10 秒の範囲まで）にも報知動作させたいときに使用します。猶予秒数が 0 ～－10 秒の場合の報知内容は、詳細表現選択時「地震 震度 X…」となります。
- 通過地震を「OFF」選択時に猶予秒数が 0 秒を下回った場合は、機器は報知動作しません。また、通過地震を「ON」選択時に猶予秒数が－10 秒を下回った場合も機器は報知動作しません。
- 工場出荷時の設定は、「OFF」に設定されています。

※ウェブブラウザからも設定できます。(P.19 参照)

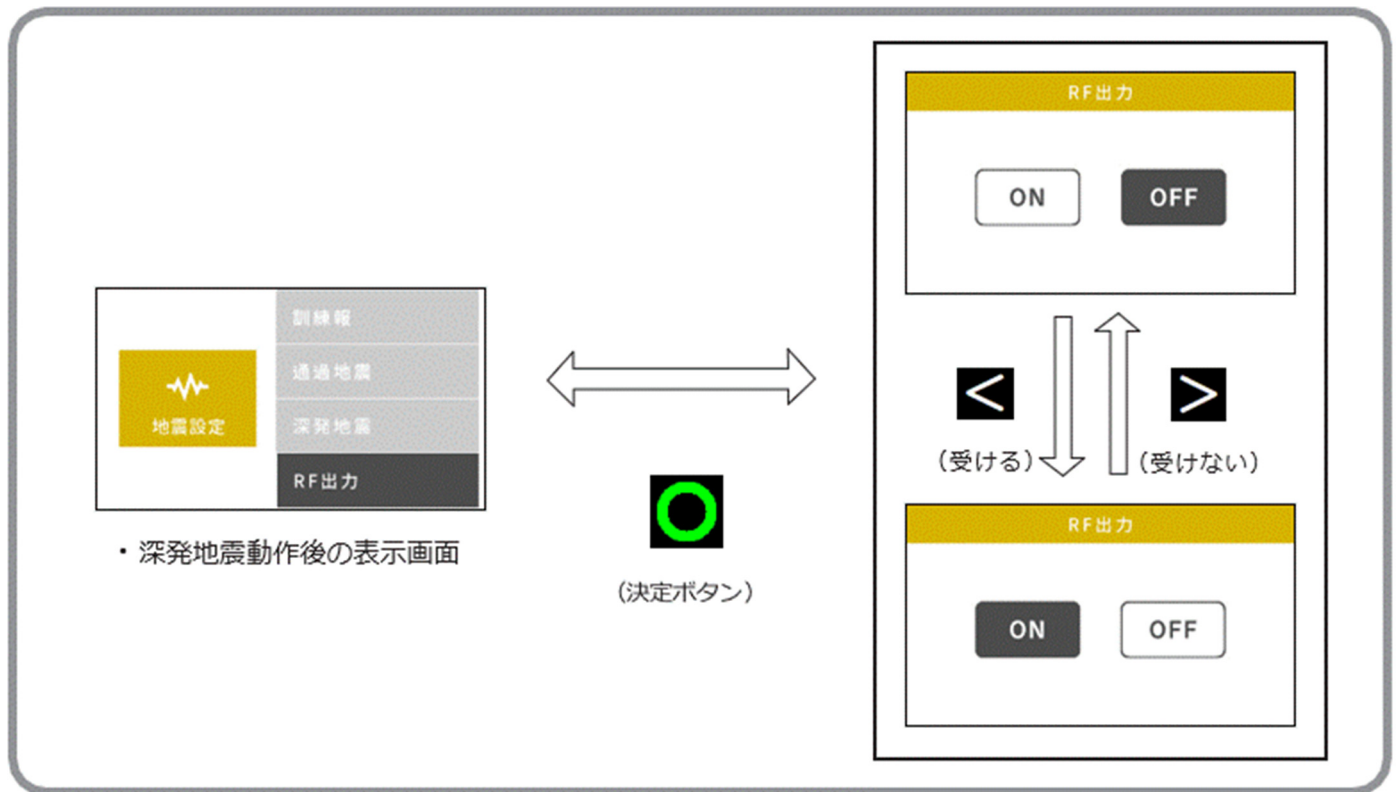
「深発地震」の設定



- 「地震設定画面」で「深発地震」を選択して◎決定ボタンを押すと、「深発地震」の選択画面に入ります。
- 戻る ボタン、進む ボタンを押すことによって ON / OFF の選択をします。希望の設定に合わせた後、決定◎ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定画面」に戻ります。
- 深発地震は、震源の深さが 150 km よりも深い場合、震度および地震到達猶予時間の予測演算結果に大きな誤差を含む可能性が高くなります。お客様側で「ON / OFF」の選択をしてください。
- 深発地震「ON」に設定した場合は、震源の深さに関係なく動作します。「OFF」に設定した場合は、震源の深さが 0 ～ 150 km の地震に対して動作し 150 km を超える深さの地震に対しては動作しません。
- 工場出荷時の設定は、「OFF」に設定されています。

※ウェブブラウザからも設定できます。(P.19 参照)

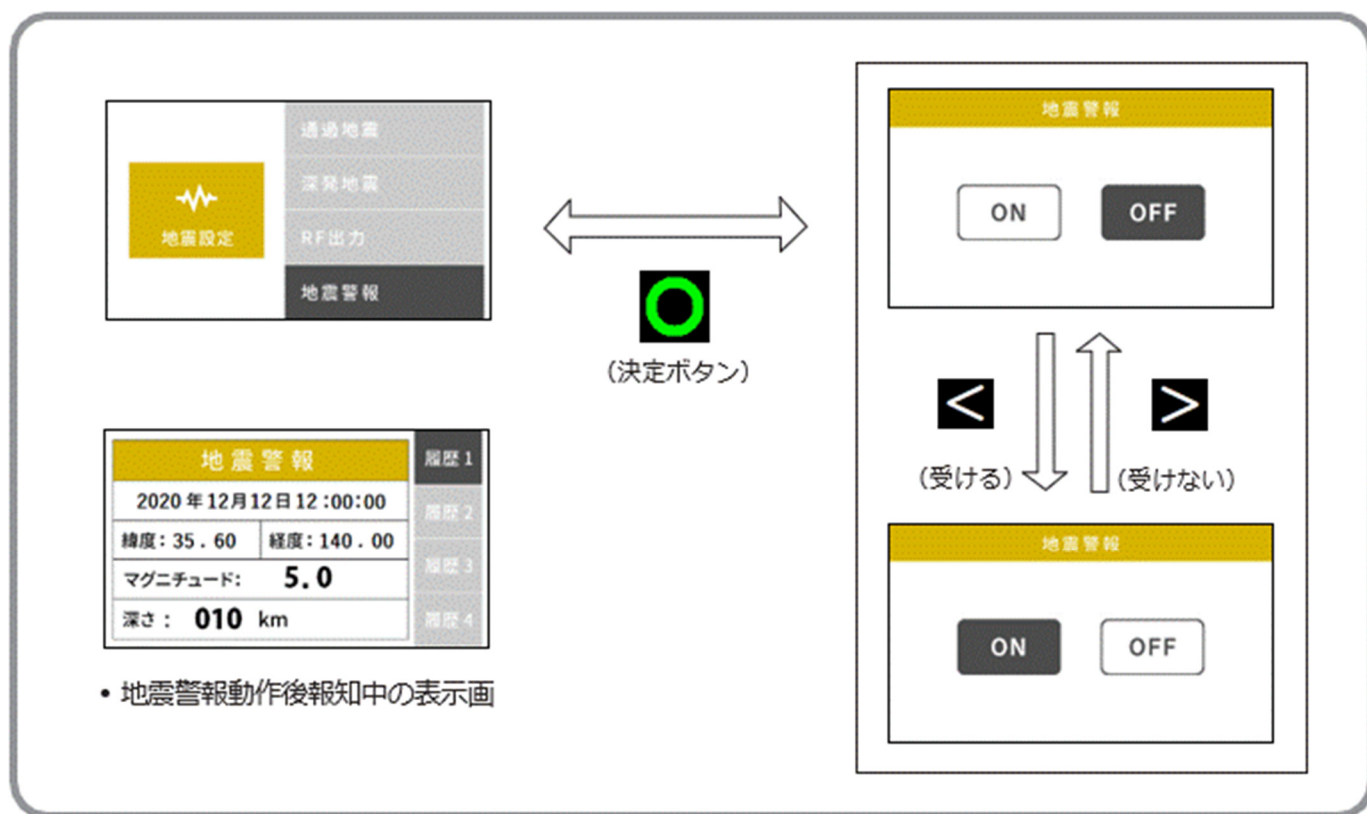
■ オプションサウンドユニットへの送信設定（「RF」の設定）



- 「地震設定画面」で「RF 出力」を選択して決定 ボタンを押すと、「RF 出力」の選択画面に入ります。
- 戻る **<** ボタン、進む **>** ボタンを押すことによって ON / OFF の選択をします。希望の設定に合わせた後、◎決定ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定画面」に戻ります。
- RF 設定は「子機（オプション）（P.76 参照）」へ無線電波（RF）を出力することを設定する機能です。

※ウェブブラウザからも設定できます。（P.19 参照）

「地震警報」の設定



- 「地震設定画面」で「地震警報」を選択して決定 ◎ボタンを押すと、「地震警報」の選択画面に入ります。
- 戻る ◀ ボタン、進む ▶ ボタンを押すことによって ON / OFF の選択をします。希望の設定に合わせた後、決定 ◎ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定画面」に戻ります。
- 端末設置場所に気象庁から地震警報が発表された場合、地震警報を報知する機能です。地震警報の AF 音声は設定震度を問わず報知されます。

※ ご利用者は「受信する / 受信しない」設定のみ選択できます。地震警報区域の設定はユーザー登録用紙のお客様住所（市 / 都 / 区 / 町）情報から販売元又は配信事業者から設定を行います。

※ ウェブブラウザからも設定できます。（P.19 参照）

地震警報（緊急地震速報（警報））とは

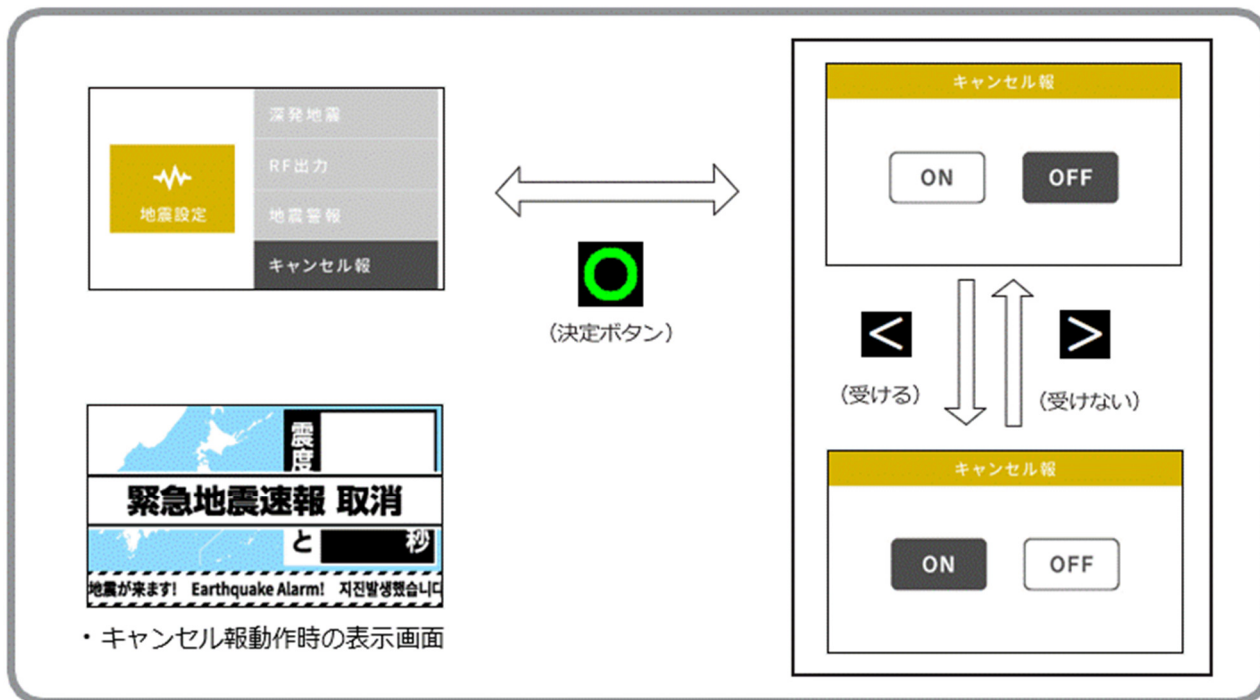
「震度 5 弱以上または長周期地震動階級 3 以上（※1）」が予想される地震で、「震度 4 以上または長周期地震動階級 3 以上」が予想される地域がある区域（※2）に対して発表されます。

地震警報を受信すると、本装置の報知震度（P.49 参照）、地震出力レベル（P.55 参照）にかかわらず発報、および接点出力されます。

※1…長周期地震動とは、大きな地震で生じる、周期（揺れが 1 往復するのにかかる時間）が長い大きな揺れのこと。詳しくは気象庁ホームページを参照してください。

※2…区域とは、気象庁が全国を約 200 地域に区分した地域のこと。同じ区域内であっても、予測震度 4 の地域もあれば、予測震度 2 の地域もある場合があります。

■「キャンセル報」の設定

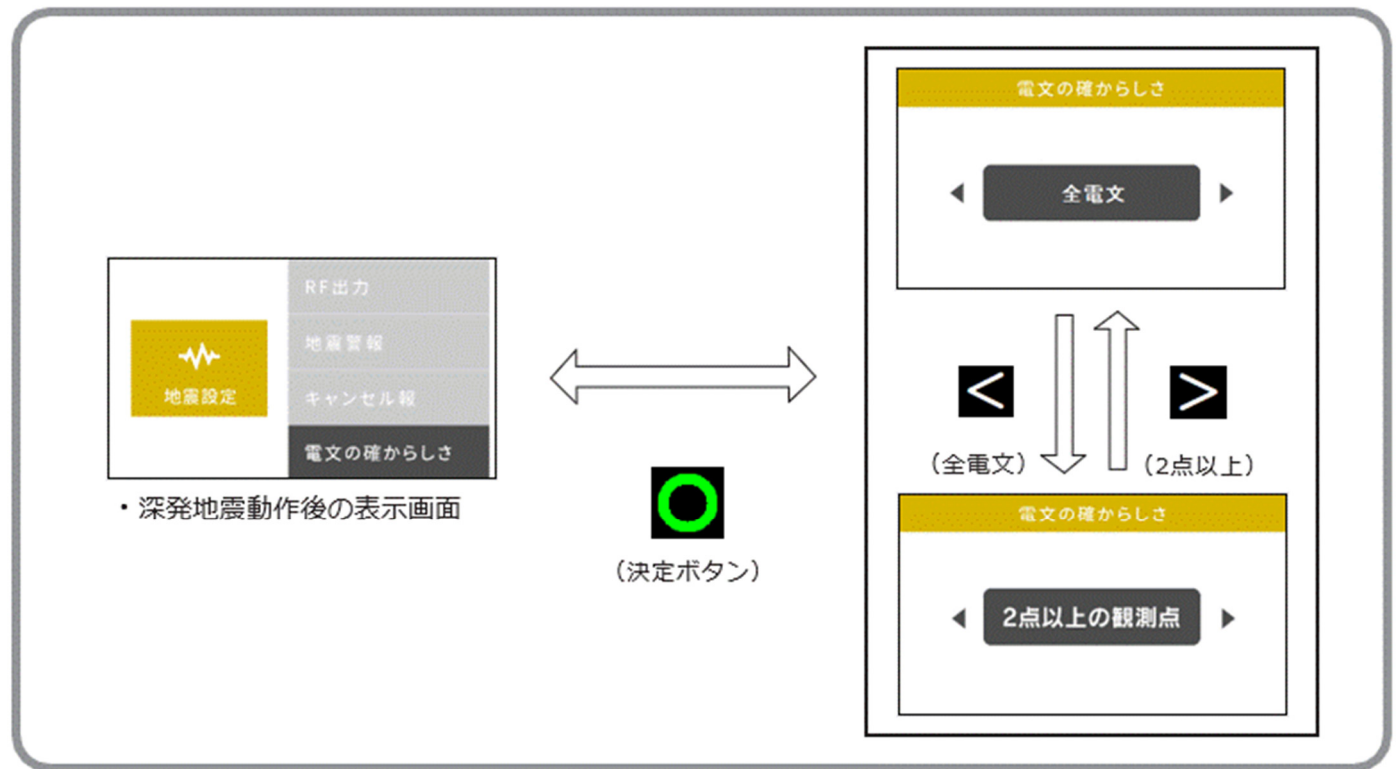


- 「地震設定画面」で「キャンセル報」を選択して決定 ボタンを押し、「キャンセル報」の選択画面に入ります。
- 戻る ボタン、進む ボタンを押すことによってON / OFFの選択をします。希望の設定に合わせた後、決定◎ボタンを押してください。設定保存後、「地震設定画面」に戻ります。
- キャンセル報を「ON」に設定した場合は、直前に報知動作した緊急地震速報の ID と一致したキャンセル報に対して反応し、機器より「取り消します。先ほどの地震速報は誤報です。」という音声で報知動作します。「OFF」に設定した場合は、キャンセル報に対して動作しません。
- このキャンセル報を受信した際には、直前の緊急地震速報（予報）が誤りだったと理解して頂き、落ち着いた行動をとっていただきますようお願い致します。
- 工場出荷時の設定は、「OFF」に設定されています。

※ 1 点の観測点のみの処理結果によって緊急地震速報（予報）を発信した後、所定の時間が経過しても 2 観測点目の処理が行われなかった場合はノイズと判断し、発表から数秒～ 10 数秒程度でキャンセル報を発信します。島嶼部など観測点密度の低い地域では、実際の地震であってもキャンセル報を発信する場合があります。なお、この場合には、キャンセル報の発信までに 30 秒程度がかかることがあります。

※ウェブブラウザからも設定できます。(P.19 参照)

■「電文の確からしさ」の設定



※全電文、2点以上の観測点の詳細について、52 ページにご参照ください。

・工場出荷時の設定は、「2点以上」に設定されています。

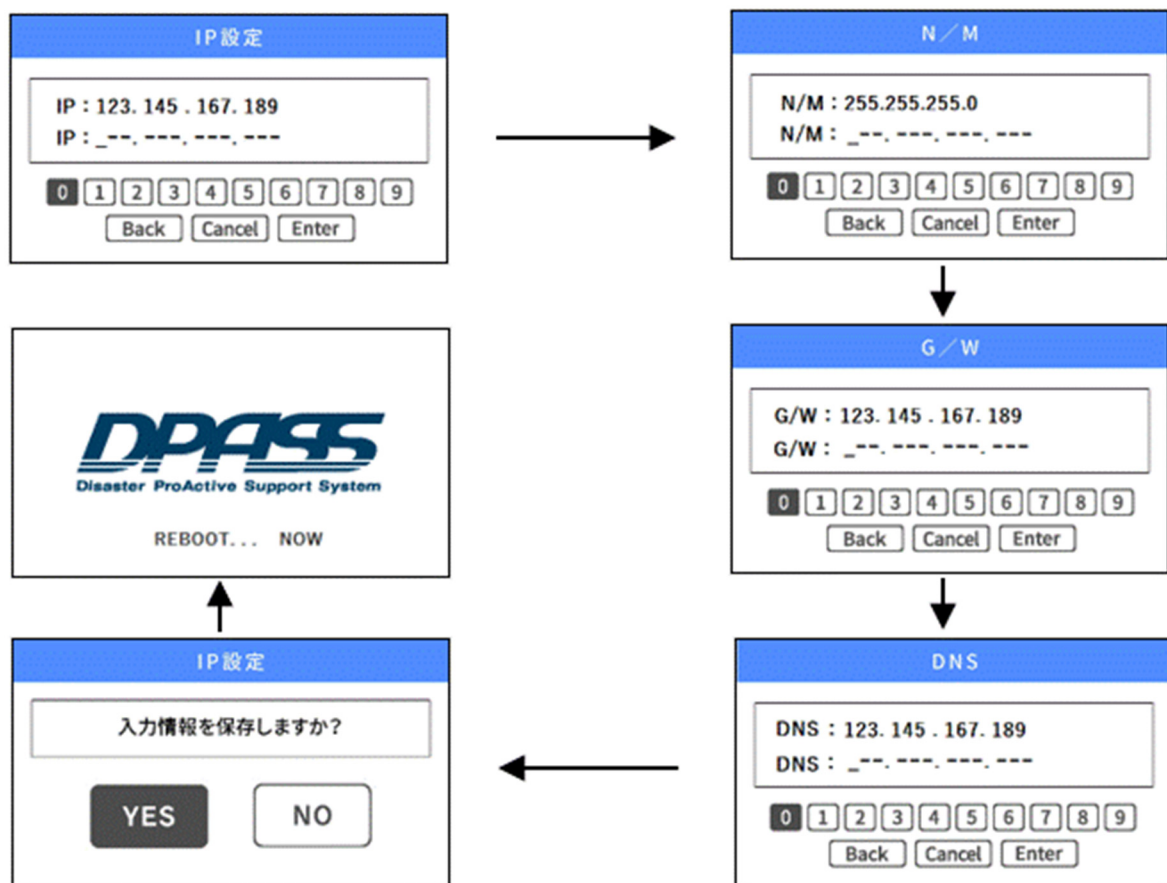
※ウェブブラウザからも設定できます。(P.19 参照)

■ 固定 IP 設定 (DHCP OFF)



DHCP (IP 自動取得)「OFF」にしますとネットワーク情報 (IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS) 入力が必要になります。

※ウェブブラウザからも設定できます。(P.21 参照)

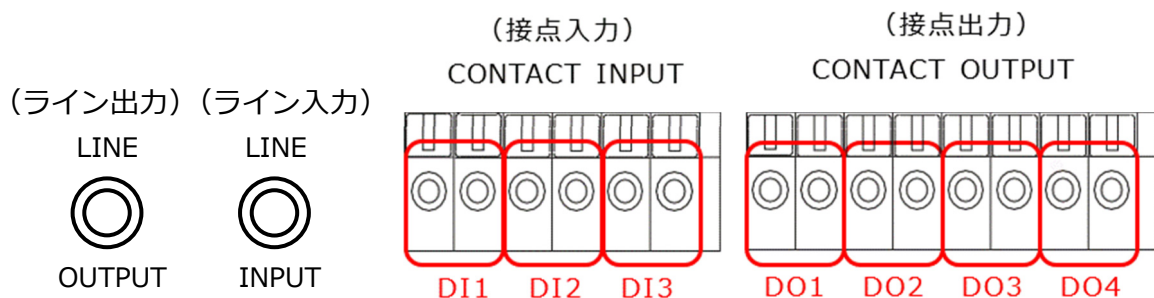


DHCP を「OFF」にしますと IP 設定ができるようになります。

IP/NM/GW/DNS を戻るボタンと進むボタンで移動しながら数字を選択し入力します。入力が終わりますと情報を保存するを選択してください。選択すると自動的に再起動します。

■ 外部接続端子について

- ※ ご購入された販売店の指定業者の指示なく外部接続端子に接続しないでください。
- ※ DO/DI の端子は、スクリューレスプッシュ式ですので、接続の際には電線の被覆剥いてそのまま挿入してください。最後まで入らない場合は、各端子のボタンを軽く押して挿入してください。



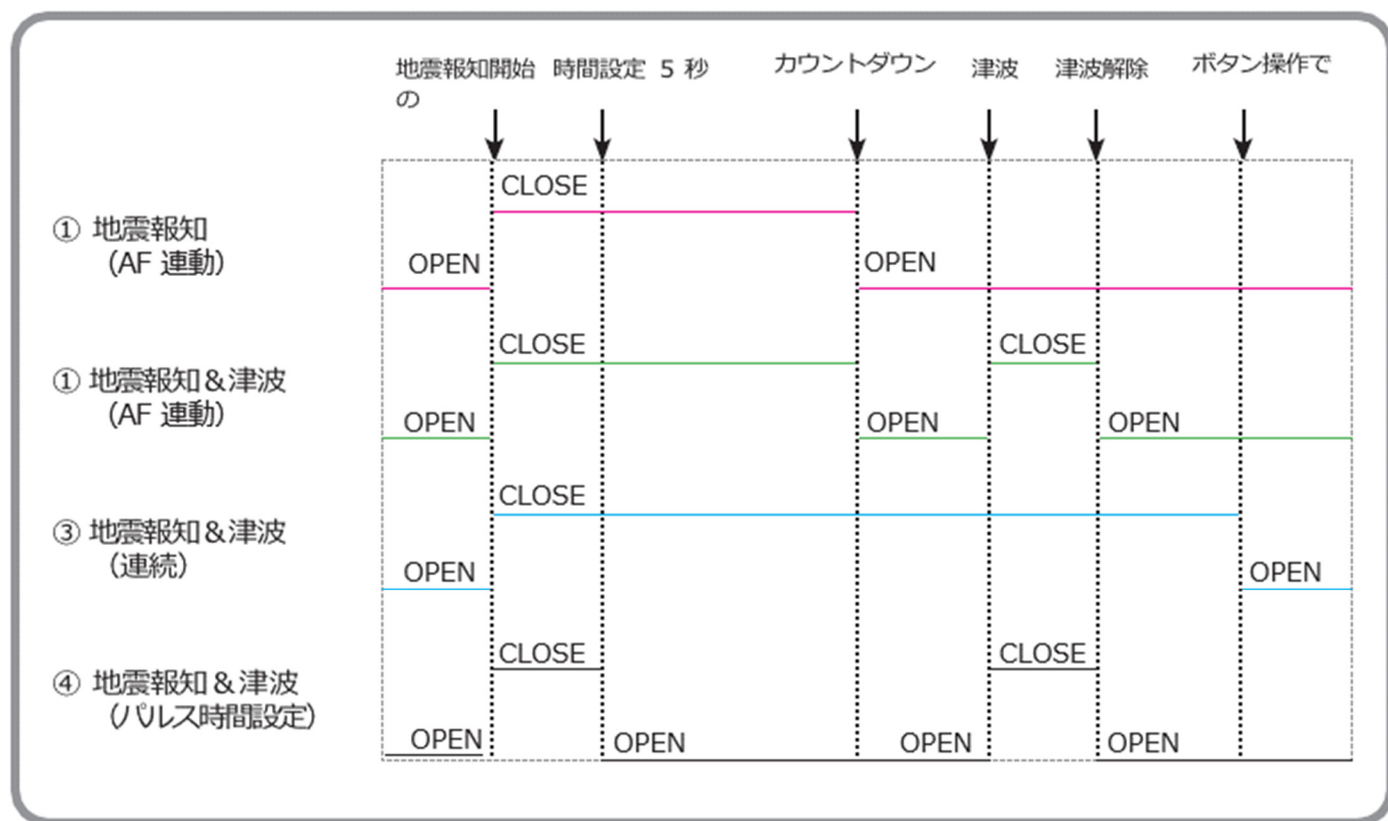
- ※無電圧ループ接点になっています。定格電圧 (38V) を超える電圧は与えないでください。故障の原因となります。
- ※接続可能電線は、AWG26 ～ 20 の範囲でご使用ください。電線被覆剥きしろは、8 ～ 9mm です。

◆出力

- ・外部接点出力 DOUT(DO1/2/3/4) は 4 チャンネル、無電圧ループ出力です。
- ※ DO 端子に誘導性負荷 (モーターや機械式リレーなど) を直接接続する場合は十分な逆起電力対策・サージ吸収対策を講じてください。
(接点抵抗値は、OPEN : 600M Ω 以上/CLOSE : 0.7 Ω 以下です。)
- ・接点端子の動作タイミングは報知震度設定・ディレー・AF 連動・連動・時間設定・津波など設定により開始タイミング、終了タイミング設定ができます。
(P.75 のタイミングチャートをご参照ください。)
- ※ 連続の場合は地震報知後に解除 (ボタン解除・気象庁からの誤報報知) するまで ON (A 接点 : CLOSE、B 接点 : OPEN) のまま継続します。

◆入力

- ・外部接点入力 DIN(DI1/2/3) は 3 チャンネル、無電圧ループ出力です。
- ・OPEN 時、3.6V ～ 4.0V の電圧がでています。CLOSE 時約 5mA の電流が流れます。接続回路の抵抗は 50 Ω 以下に収まるようにしてください。



— 外部接続端子出力タイミングチャート —

定期点検

本製品は常に安定稼働させるために、定期点検を行ってください。

◆日常の点検

本製品のディスプレイの「6 画面の表示基本画面 (P.39)」で、以下の点を確認してください。

1. 「時計」が正しく表示されていること。
2. 「サーバー接続状態」が「OK」になっていること。
3. サウンドユニットを併用している場合は、予報テスト (P.36、P.64 参照) を行い、サウンドユニットから予報が適切な音量で聞こえること。

上記にかかわらず、本製品に異常が見られた場合は、ただちにご購入された販売元までご連絡ください。

◆業者による点検

本製品の内部で使用している部品の劣化や寿命などを点検するために、1年に1回は指定業者に点検を依頼してください。

※業者による点検につきましてはご購入された販売店にお問い合わせください。

■ BLACK なまず 子機 型番 : DN-KOKI700

オプションの子機を使用することにより、本体から離れている場所（部屋）でも、発報アナウンスを聞くことができます。

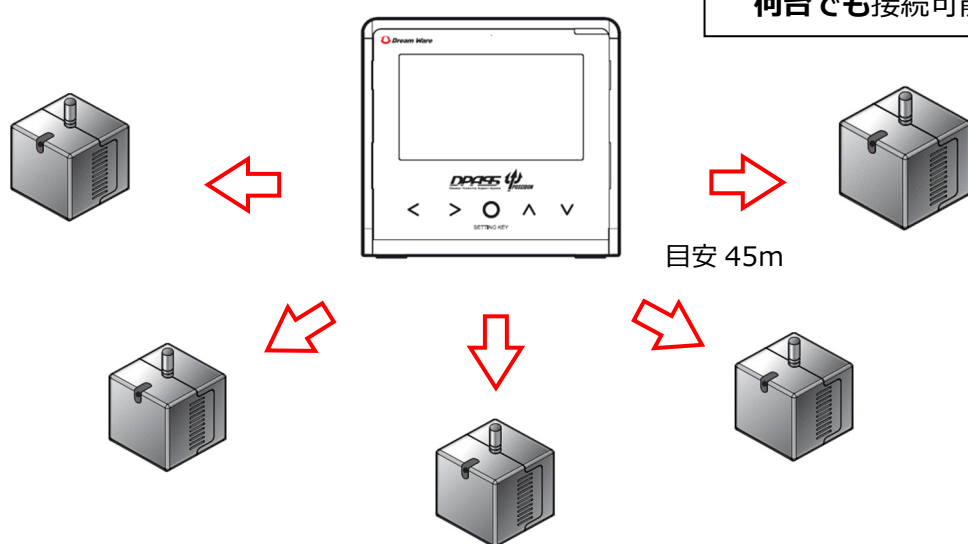
また、1台目の子機を中継機として、更に離れた場所に子機を配置することが可能です。

電波到達距離は、直線距離で目安 45mです。設置環境により短くなる場合があります。

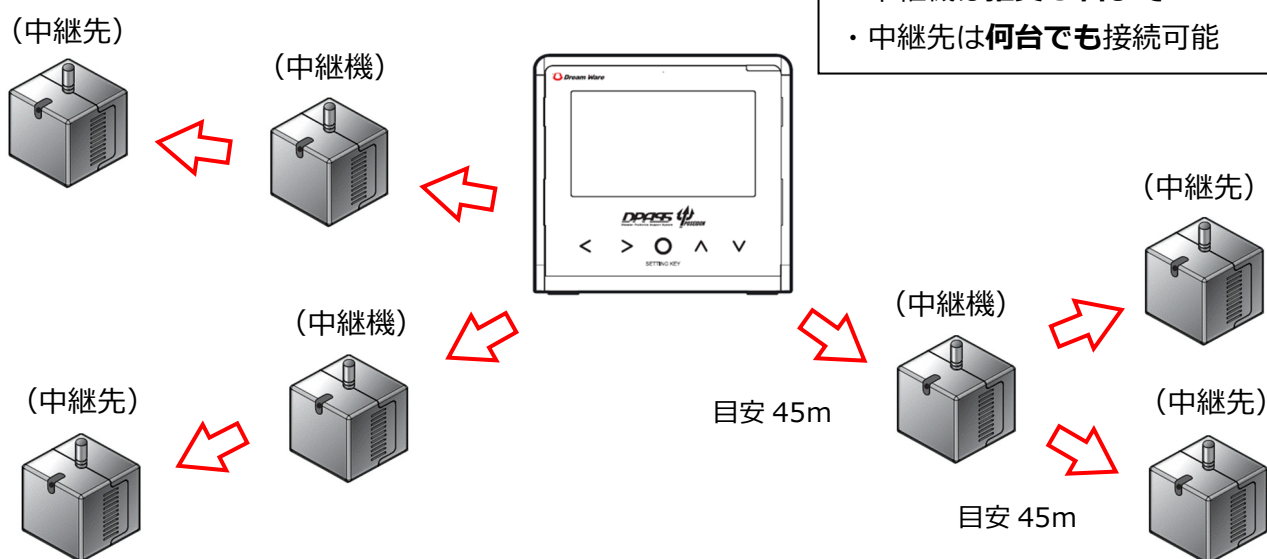
詳細は弊社までお問い合わせください。

◆ 接続可能な子機の台数

● 中継しない場合：制限なし



● 中継する場合：推奨 3 台まで



仕様書

BLACKなまず 本体 «DN-SH700J»			
品名	BLACKなまず		
型番	DN-SH700J		
本体外形寸法	幅155mm×高さ144mm×奥行き156mm(突起部除く)		
重量	0.56Kg		
電源電圧	DC5V ACアダプター使用(出力：DC5V、3000mA以上)		
消費電力	待受 2.9W 最大 6.4W		
温湿度条件 (結露なきこと)	操作時0~40℃ 非動作時：-10~60℃ 湿度：0~80%RH		
電文受信方式	IPv4インターネット常時接続環境でのTCP/IP方式		
出力	外部制御出力	(DO 1/2/3/4)	無電圧ループ接点出力 (DO1~3 A接点、DO4 B接点)
			定格電圧：38V、最大ピーク電圧：60V
			定格電流：1000mA、最大ピーク電流：1000mA
	内蔵音声出力	(SPEAKER)	2W
	外部音声出力	(LINE OUT)	RCA-MONO、出力電圧：800mVp-p Max.、5dBm(最大)/100K Ω 不平衡
	信号出力	(DEBUG)	TTLレベル、多段接続時の信号出力
入力	HDMI出力	(HDMI)	HDMI1.4
	電源	(DC IN)	AC100V (50/60Hz) DC12V-1000 m A
	外部音声入力	(LINE IN)	RCA-MONO、入力電圧：800mVp-pMax.、100K Ω 不平衡
	ネットワーク	(RJ-45)	10/100Base-T
			配信サーバーとの通信ポート：9001
表示 / 操作音	外部接点入力	(DI1/2/3)	電圧ループ接点出力に対応 出力電圧：5V、出力電流：5mA
	LCD 部	(INFORMATION)	端末設定情報および電文受信内容他を表示
	赤 LED	(POWER)	電源供給状態およびハードウェア接続状態の確認
	緑 LED	(STATUS)	ネットワーク接続状態および電文受信の確認
	ブザー		ボタンの操作確認音
接続コネクター	電源		外径：6mm、内径：2mm
	LINE OUT		RCA ピンジャック
	LINE IN		RCA ピンジャック
	HDMI出力		出力解像度1920X1080
	DO		スクリューレス 3.5mm ピッチ
	DI		スクリューレス 3.5mm ピッチ

■ トラブルシューティング

電源を入れても画面に何も表示されません。	1. 本体正面の右側の電源ランプ（PWR：赤）が点灯しているかお確かめください。 2. 本機器付属の AC アダプターかお確かめください。 ※ AC アダプターは AC100 V、50/60Hz 専用です。 ※ 変圧機等を使用している場合、その機器の仕様をもう一度お確かめください。
本体の STATUS ランプおよびディスプレイが O N / O F F を繰り返します。	本機器は STATUS ランプを点滅させることによって異常が発生していることをお伝えします。サーバーとの通信ができない場合、約 30 秒単位で通信リトライを行い、10 分経過しますと自動的に再起動をします。接続できるまで通信リトライと再起動を繰り返します。次の項目を確認してください。 ●サーバーとの接続ができないとき 1. ネットワーク環境をお確かめください。（ハブ、ルーター、プロバイダー） 2. ルーターセキュリティ設定の TCP「9001」ポートの制限を許可してください。 3. ルーターの DHCP 設定を有効にしてください。
ディスプレイ画面のサーバー接続表示マーク赤のままです。	本機器はお客様のご使用のネットワーク環境からプロバイダーの通信回線を経由して弊社のサーバーへ接続されます。時により不具合が生じることでサーバー接続表示マークが赤になるとことがあります。 1. 電源を入れ直してその変化をお確かめください。 2. LAN ケーブルが正しく接続されているかお確かめください。 3. ハブ、ルーター、インターネットプロバイダーの設定をお確かめください。 4. 使用しているネットワーク機器（ルーター、ハブ）の電源を入れ直してください。 5. ルーターセキュリティ設定の TCP「9001」ポートの制限を許可してください。 6. ルーターの DHCP 設定が有効になっているかお確かめください。 7. パソコンやネットワーク機器が機器と同じ IP アドレスを使っていないかお確かめください。 8. 回線業者（プロバイダー）からのメンテナンスなど回線障害があった場合、ルーターの再起動が必要なケースもあります。
パソコンから本機器のウェブブラウザにログインできません。	1. ログイン画面が表示されない場合 入力した IP アドレスと機器の IP アドレスが一致しているかお確かめください。 2. ログイン画面からログインができない場合 入力しているパスワードが正しいかどうかお確かめください。 出荷時のパスワードは「admin」となります。

ボタンの操作ができません	1. 報知後は、地震受信画面のままでは機器の操作は一切できません。報知の内容を確認後、CLEAR ボタンを押して基本画面に戻してください。 2. 地震予報が報知している最中はボタンの操作はできません。 3. 本機器に電源を入れて基本画面が出てくるまで操作はできません。 4. サーバーとの通信ができない状態が約 10 分続くと、自動的に再起動しますが、この時にもボタンの操作ができなくなります。
画面の文字が見えません	本体の電源を入れ直してください。 復旧しない場合は、ご購入された販売店へお問い合わせください。
その他	その他の疑問点や本装置の不具合がありましたらご購入された販売店にお問い合わせください。 ※お問い合わせの際には必ず、お客様が使用している本装置の識別ID（QAK から始まる10桁の英数字）をお伝えください。 （本体裏面のバーコードラベルにも記載されています。）
修理の受付	本装置の不具合等による交換を希望の方は、ご連絡いただく前に、設置方法や設定等が正しいか再度ご確認ください。正しく設置や設定を行っているにもかかわらず不具合が改善されない場合は、ご購入された販売店までご連絡ください。 ●保証期間中の場合 保証書の記載に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証規定をお読みください。 ●保証期間後の場合 ご要望により有料で対応させていただきます。

緊急地震速報のリーディングカンパニー



株式会社 **J** コーポレーション

総合窓口 TEL 0742-53-7833

〒631-0011 奈良県奈良市押熊町 557-7-4F

<https://www.jcorp.co.jp> fax 0742-53-7795



緊急地震速報